

ビデオ プロジェクター

取扱説明書

VPL-VW5000 **ES**

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と付属の簡易説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

4K **SXRD** **HDMI**
Silicon X-tal Reflective Display

目次

各部の名前

本機前面／右側面	3
本機後面／底面	4
リモコン	5

接続と準備

本機を設置する	6
画面の位置を調整する	6
ビデオ機器やパソコンをつなぐ	10
ビデオ機器をつなぐ	10
パソコンをつなぐ	11

見る

映像を投写する	12
電源を切る	12
3D 映像を楽しむ	13
3D メガネを使う	13
ピクチャーポジションを使う	14
映像に合わせてアスペクト比を切り替える	15
画質を選ぶ	16

メニュー画面で調整や設定をする

メニュー操作のしかた	17
画質設定メニュー	19
画質詳細設定メニュー	24
スクリーン設定メニュー	25
初期設定メニュー	27
機能設定メニュー	29
セッティングロックによってロックされる項目	31
設置設定メニュー	32
情報メニュー	35
プリセットメモリーについて	35

ネットワーク機能を利用する

ウェブブラウザで本機のコントロール画面を開く	36
コントロール画面を操作する	37
ページを切り替える	37
アクセス制限を設定する	37
本機の状態を確認する	37

困ったときは

故障かな？と思ったら	38
インジケータの見かた	40
メッセージ一覧	41
保証書とアフターサービス	42

その他

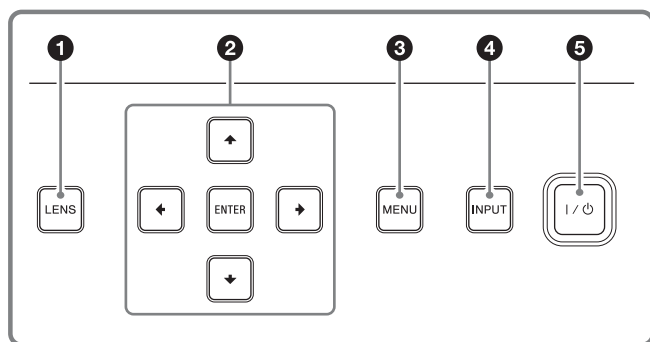
アップデート機能を利用する	43
HDR（ハイダイナミックレンジ）について	43
DCI 仕様について	43
x.v.Color（エクスペイ・カラー）について	43
シミュレーテッド 3D 機能について	43
ソフトウェアに関するお知らせ	43
主な仕様	44
プリセット信号一覧	45
入力信号と調整・設定項目	46
対応 3D 信号一覧	46
アスペクトモード	46
調整／設定項目の保存条件	47
投写距離とレンズシフト量	49
寸法図	53
索引	54

各部の名前

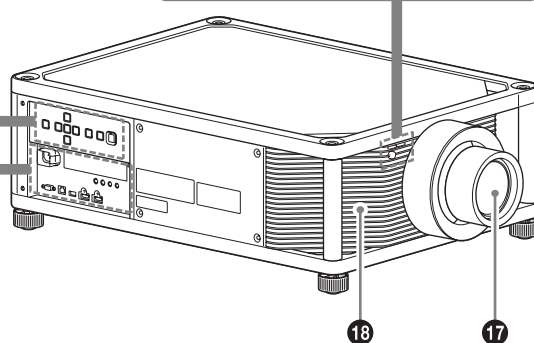
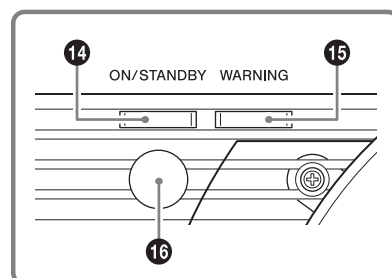
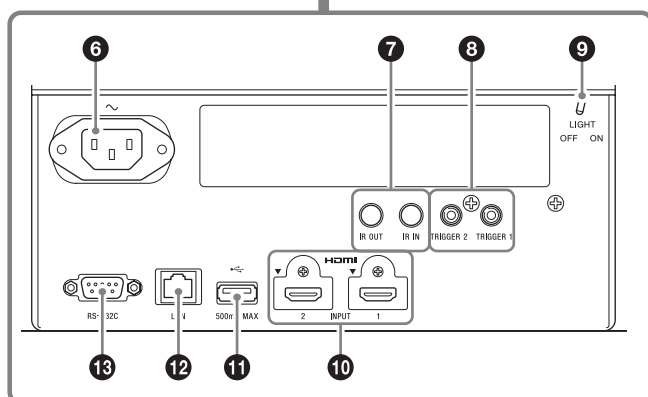
本機前面／右側面

本機のコントロールパネルのボタンはリモコンの同名称のボタンと同じ働きをします。

コントロールパネル



接続端子



コントロールパネル

- ① LENS ボタン (6 ページ)
- ② ↑/↓/←/→ / ENTER ボタン (17 ページ)
- ③ MENU ボタン (17 ページ)
- ④ INPUT (入力切換) ボタン (12 ページ)
- ⑤ I/ON (オン／スタンバイ) ボタン (7 ページ)

接続端子

- ⑥ ～ 電源端子 (7 ページ)

⑦ IR IN / IR OUT 端子

IR IN：本機を制御するための信号を入力します。接続するとリモコン受光部はリモコンの操作を受け付けなくなります。

IR OUT：本機が受けた制御信号を接続した機器に出力します。リモコンで本機を操作すると接続した機器も同時に制御できます。

⑧ TRIGGER 1/TRIGGER 2 端子 (32 ページ)

⑨ 端子照明用スイッチ

端子部の照明を入／切します。

⑩ HDMI 1 / HDMI 2 端子 (10 ページ)

⑪ USB 端子 (43 ページ)

⑫ LAN 端子 (36 ページ)

⑬ REMOTE 端子

制御用システムなどをつなぎます。

インジケータとリモコン受光部

⑭ ON/STANDBY インジケータ (40 ページ)

⑮ WARNING インジケータ (40 ページ)

⑯ リモコン受光部 (6 ページ)

その他

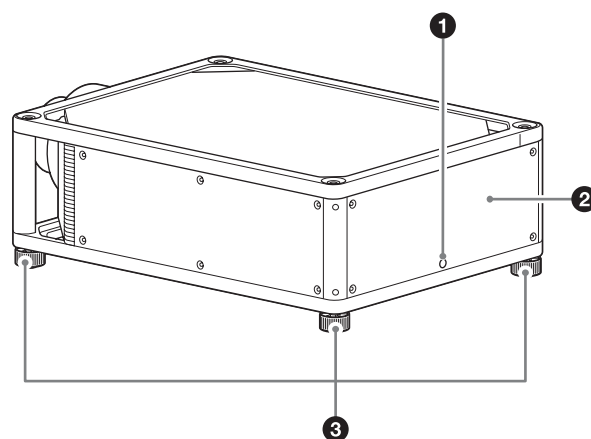
⑰ レンズ

⑱ 吸気口

ご注意

投影中にレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。特にお子様には充分ご注意ください。

本機後面／底面

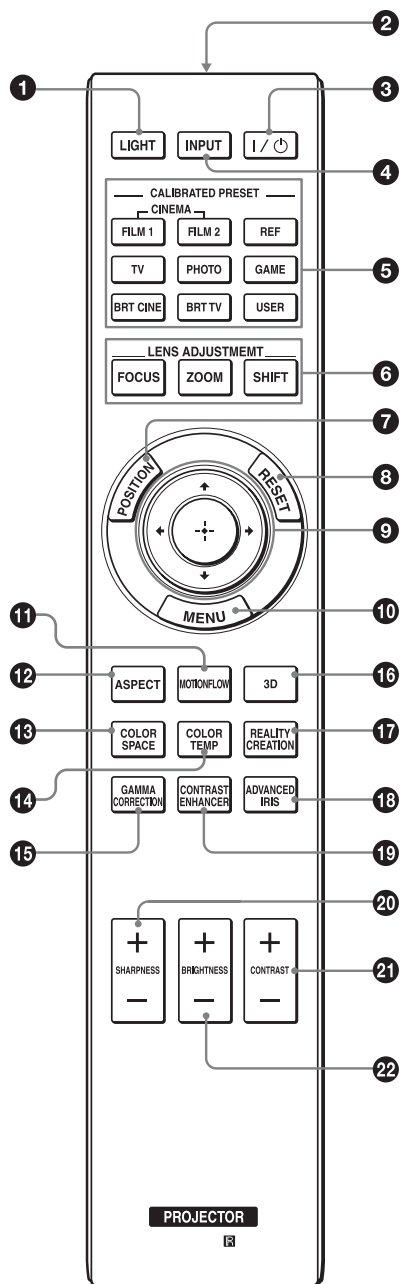


① リモコン受光部 (6 ページ)

② 排気口

③ 脚部 (調整可) (8 ページ)

リモコン



- ① LIGHT (ライト) ボタン
押すとリモコンのボタンが光ります。
- ② リモコン発光部
- ③ I/⏻ (オン/スタンバイ) ボタン (7 ページ)
- ④ INPUT (インプット) (入力切換) ボタン (12 ページ)
- ⑤ CALIBRATED PRESET (キャリブレイテドプリセット) ボタン (16 ページ)
- ⑥ LENS ADJUSTMENT (レンズアジャストメント) ボタン (7 ページ)
- ⑦ POSITION (ポジション) ボタン (14 ページ)
- ⑧ RESET (リセット) ボタン (18 ページ)
- ⑨ ↑/↓/←/→ (矢印) / Ⓢ (確定) ボタン (17 ページ)
- ⑩ MENU (メニュー) ボタン (17 ページ)
- ⑪ MOTIONFLOW (モーションフロー) ボタン (20 ページ)
- ⑫ ASPECT (アスペクト) ボタン (15 ページ)
- ⑬ COLOR SPACE (カラースペース) ボタン (23 ページ)
- ⑭ COLOR TEMP (カラーテンパラチャー) ボタン (21 ページ)
- ⑮ GAMMA CORRECTION (ガンマコレクション) ボタン (22 ページ)
- ⑯ 3D (スリーディー) ボタン (13 ページ)
- ⑰ REALITY CREATION (リアリティークリエーション) ボタン (19 ページ)
- ⑱ ADVANCED IRIS (アドバンストアイリス) ボタン
本機では使用しません。
- ⑲ CONTRAST ENHANCER (コントラストエンハンサー) ボタン (20 ページ)
- ⑳ SHARPNESS (シャープネス) ボタン (21 ページ)
- ㉑ CONTRAST (コントラスト) ボタン (20 ページ)
- ㉒ BRIGHTNESS (ブライトネス) ボタン (20 ページ)

接続と準備

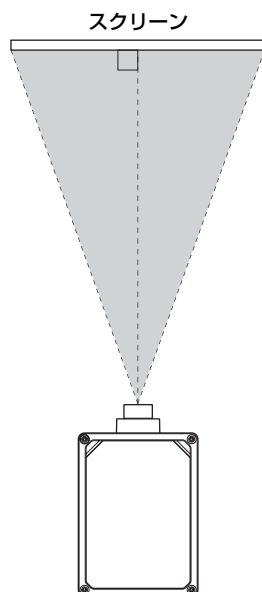
この章では、本機とスクリーンを置く位置を決めたり、本機で映す機器との接続のしかたなどを説明します。

本機を設置する

本機はレンズシフトにより、置き場所を広範囲に選べて簡単に美しい映像をご覧いただけます。

お使いになるスクリーンの大きさ（投影サイズ）やレンズシフト使用の有無によって、スクリーンと本機との位置関係が変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。スクリーンまでの距離（投写距離）と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離とレンズシフト量」（49 ページ）をご覧ください。

1 レンズがスクリーンに平行になるように本機を置く。 上から見た図



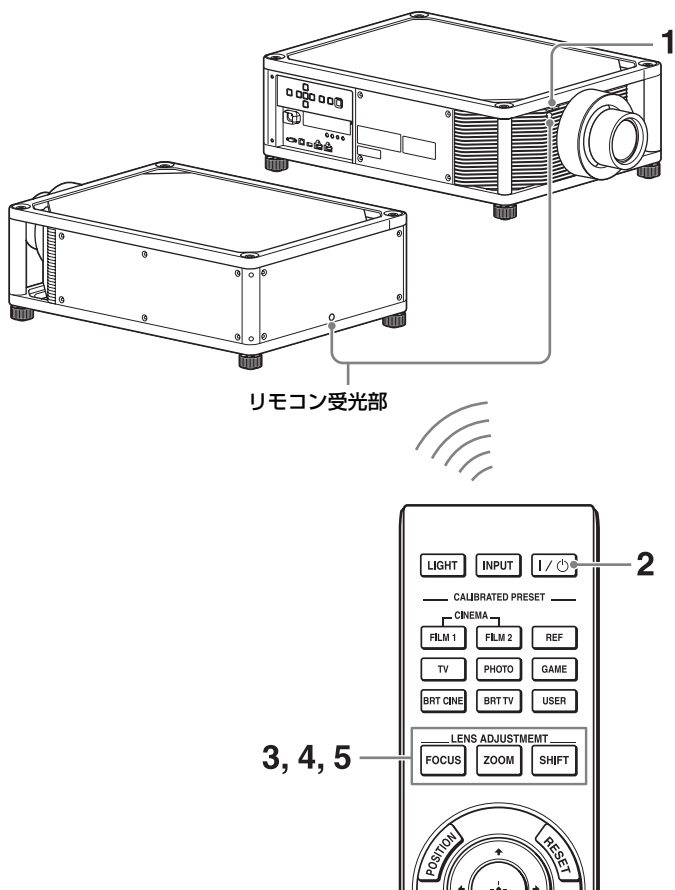
2 スクリーンに画像を映して画面の位置を調整する。 (6 ページ)

ご注意

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によっては、まれに画面上に縞模様が現れることがあります。これは本機の故障ではありません。

画面の位置を調整する

スクリーンに画像を映して画面の位置を調整します。



ちょっと一言

- ・ 本体側面の I/O（オン/スタンバイ）、INPUT、MENU、↑/↓/←/→/ENTER ボタンは、リモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをし、LENS ボタンはリモコンの FOCUS、ZOOM、SHIFT ボタンと同じ働きをします。
- ・ 本体のコントロールパネルでレンズを調整する場合は、LENS ボタンを押すたびに調整機能が切り替わります。

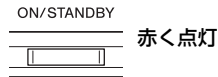
FOCUS → ZOOM → SHIFT
↑

ご注意

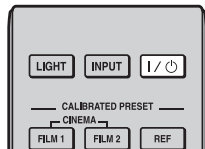
設置場所によってはリモコンで操作できないことがまれにあります。その場合は、リモコンを本機リモコン受光部またはスクリーンに向けて操作してください。

1 電源コードを本機につないでから、電源プラグをコンセントに差し込む。

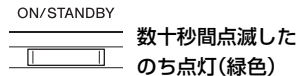
ON/STANDBY インジケーターが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。



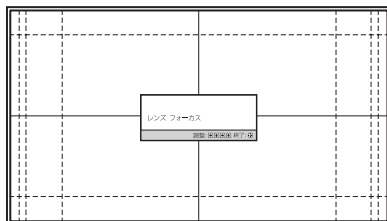
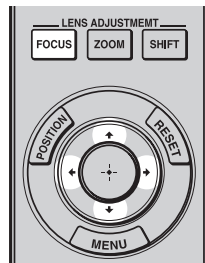
2 I/⏻ (オン/スタンバイ) ボタンを押して電源を入れる。



ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅したあと、点灯します。



3 LENS ADJUSTMENT ボタン (FOCUS) を押してレンズ調整画面 (パターン画面) を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで画面のピントを合わせる。



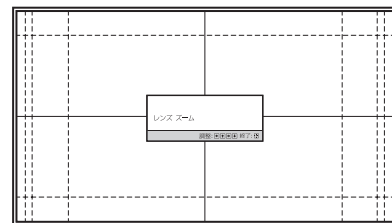
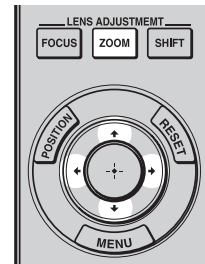
ちょっと一言

- ・「 設置設定」メニューの「レンズコントロール」が「切」に設定されている場合は、FOCUS ボタンや ZOOM ボタン、SHIFT ボタンによる調整ができません。(32 ページ)
- ・「 機能設定」メニューの「テストパターン」が「切」に設定されている場合は、「パターン画面」が表示されません。(30 ページ)

ご注意

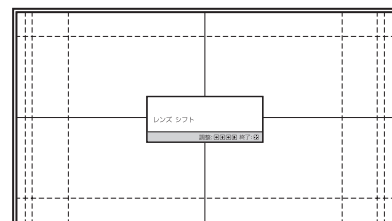
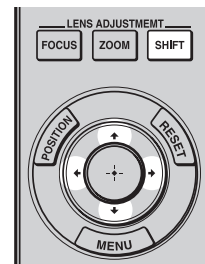
レンズの調整は、リモコンまたは本体のコントロールパネルのボタンで行ってください。レンズを直接手で回すことは破損や故障の原因となりますので、おやめください。

4 LENS ADJUSTMENT ボタン (ZOOM) を押してレンズ調整画面 (パターン画面) を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで画面の大きさを合わせる。



- ↑/→ ボタンを押すと、画面は大きくなります。
- ↓/← ボタンを押すと、画面は小さくなります。

5 LENS ADJUSTMENT ボタン (SHIFT) を押してレンズ調整画面 (パターン画面) を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで画面の位置を合わせる。



ちょっと一言

- ・ ボタンを押すと、いつでもパターン画面を消すことができます。
- ・SHIFT のレンズ調整画面が表示されているときにリモコンの RESET ボタンを押すと、レンズのセンター位置 (出荷時の状態) に戻ります。(ZOOM と FOCUS は変わりません。)

ご注意

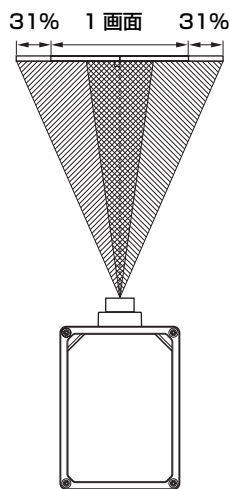
画面の位置を調整するときは、指をはさむ恐れがありますので、レンズには手を触れないようにしてください。

左右の位置を合わせるには

←/→ ボタンを押す。

レンズの中心から左右に、それぞれ画面幅の最大 31% 画面ずつ投影画面を移動できます。

上から見た図



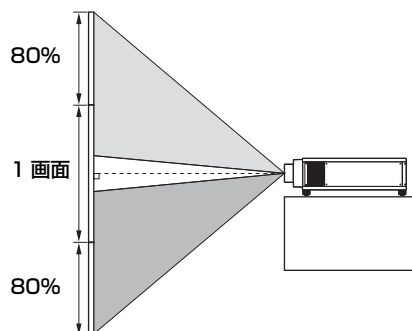
▨ : 左レンズシフトを最大にしたときの画面位置
▨ : 右レンズシフトを最大にしたときの画面位置

上下の位置を合わせるには

↑/↓ ボタンを押す。

レンズの中心から上下に、それぞれ画面高さの最大上下に 80% 投影画面を移動できます。

横から見た図

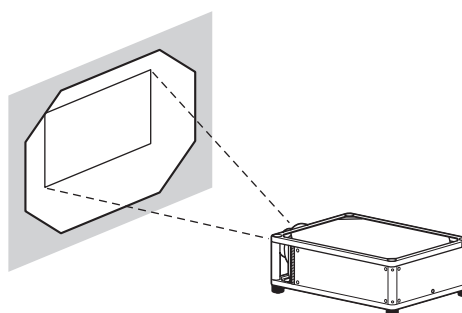
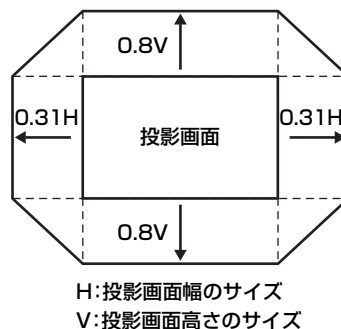


▨ : 上レンズシフトを最大にしたときの画面位置
▨ : 下レンズシフトを最大にしたときの画面位置

ご注意

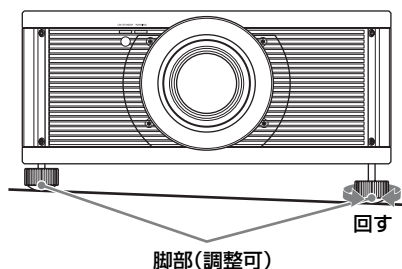
投影画面の移動は、次の図のような 8 角形の範囲内でのみ調整できます。移動可能な範囲はレンズや投写する映像のアスペクト比によって異なります。詳細は「投写距離とレンズシフト量」(49 ページ) をご覧ください。

投影画面の移動範囲



設置面の傾きを調整するには

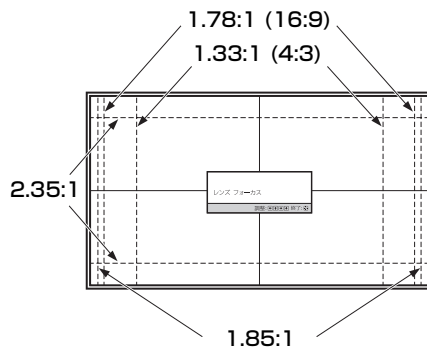
本機を置く台などが水平でない場合は、脚部（調整可）を使って調整できます。



ご注意

- ・ 本体を垂直方向に傾けると、投影画面が台形に歪みますのでご注意ください。
- ・ 脚部（調整可）を回す際は、手を挟まないようご注意ください。

レンズ調整画面（パターン画面）



破線は各アスペクト比の画角を示しています。

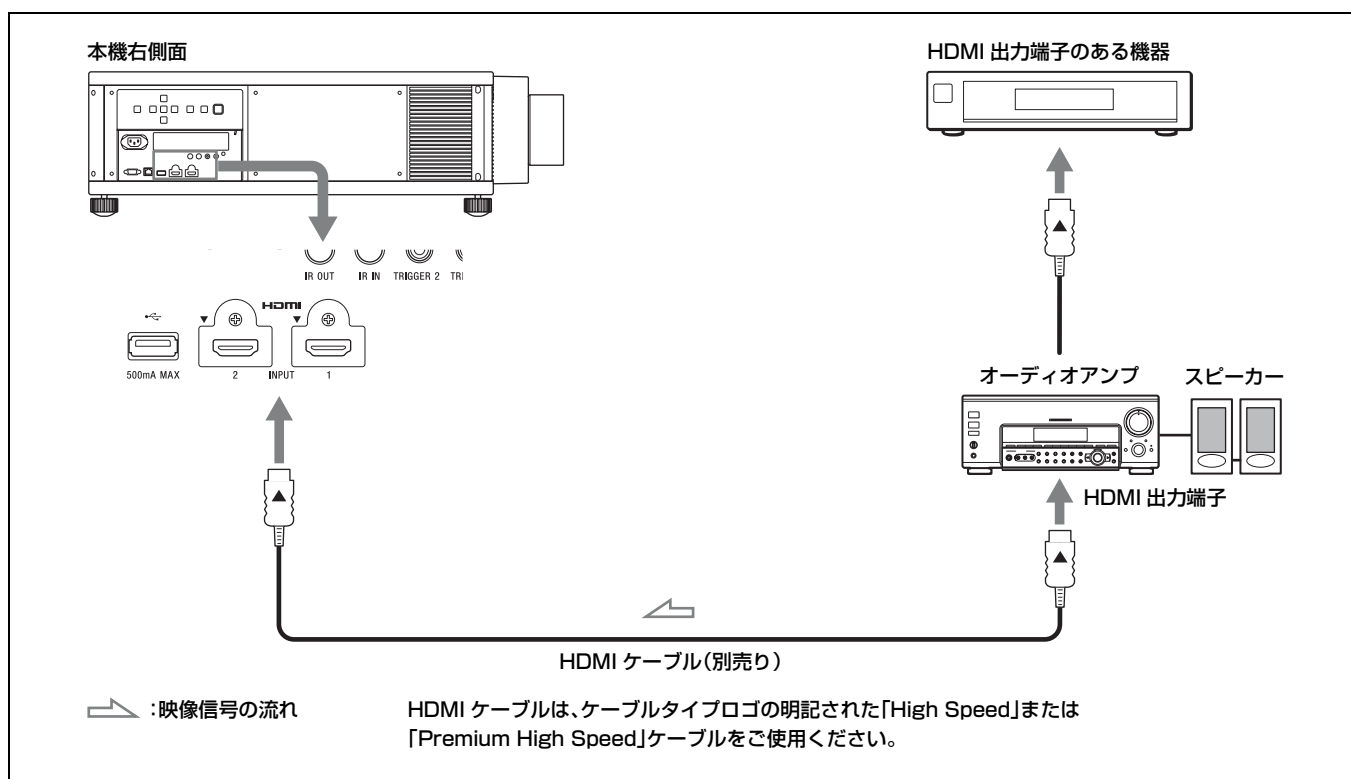
ビデオ機器やパソコンをつなぐ

HDMI 出力端子のある DVD プレーヤー／レコーダー、ブルーレイディスク（BD）プレーヤー／レコーダー、プレイステーション®などを、本機の HDMI 入力端子につなぐと高品質の映像をお楽しみいただけます。

接続するときは

- ・各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不十分な接続は動作不良、画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

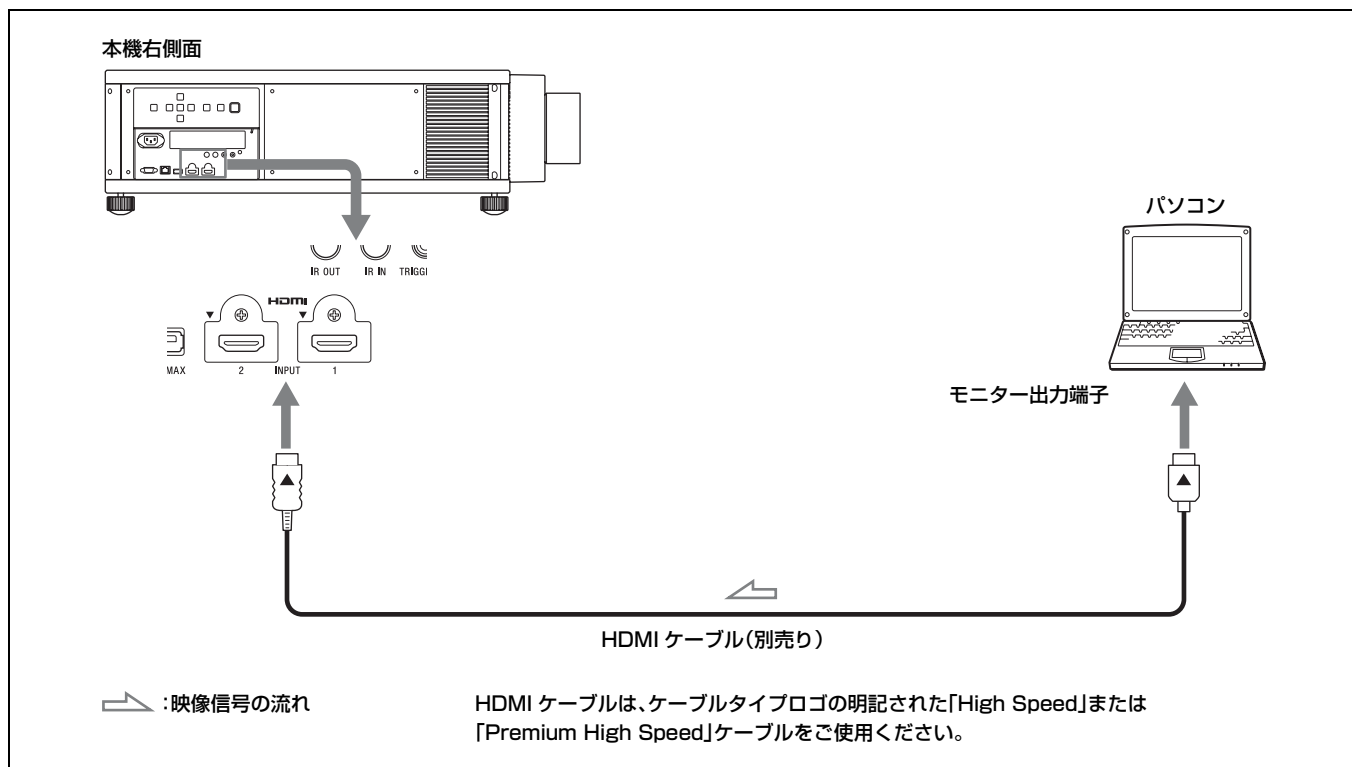
ビデオ機器をつなぐ



ご注意

- ・ HDMI ケーブルは「High Speed」または「Premium High Speed」タイプをご使用ください。「Standard」タイプを使用すると、1080p、DeepColor、3D の映像、4K の映像が正しく表示できない場合があります。
- ・ より高精細な HDMI フォーマットで映像を表示する場合は「Premium High Speed」タイプをご使用ください。
- ・ HDMI ケーブルをつなぐ際は、本機端子の上部にある ▼ とケーブル端子部の ▲ が向かい合うように接続してください。
- ・ HDMI ケーブルでつないだ機器の映像が正しく映らない場合は、つないだ機器の設定を確認してください。

パソコンをつなぐ



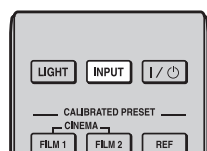
ご注意

- ・ HDMI ケーブルは「High Speed」または「Premium High Speed」タイプをご使用ください。「Standard」タイプを使用すると、1080p、DeepColor、3D の映像、4K の映像が正しく表示できない場合があります。
- ・ より高精細な HDMI フォーマットで映像を表示する場合は「Premium High Speed」タイプをご使用ください。
- ・ HDMI ケーブルをつなぐ際は、本機端子の上部にある ▼ とケーブル端子部の ▲ が向かい合うように接続してください。
- ・ HDMI ケーブルでつないだ機器の映像が正しく映らない場合は、つないだ機器の設定を確認してください。
- ・ ノート型のパソコンで、出力信号をパソコンの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、本機に正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターのみ信号が出力されるように、パソコンを設定してください。パソコンの設定については、パソコンのメーカーへお問い合わせください。

この章では、本機に接続した機器の映像を見るときに操作を説明しています。また、映像に合わせた画面サイズの切り替え操作も説明しています。

映像を投写する

- 1 本機と、本機に接続した機器の電源を入れる。
- 2 INPUT ボタンを押して、入力選択パレットを表示させる。



- 3 映したい機器を選ぶ。

INPUT ボタンを繰り返し押すか、↑/↓/⊕ (確定) ボタンで映したい機器を選びます。



例: 本機の HDMI 1 端子につないだビデオの映像を見る

ちょっと一言

- ・「 初期設定」メニューの「画面表示」が「切」に設定されている場合は、入力選択パレットは表示されません。INPUT ボタンを押すと、順に入力端子が切り替わります。
- ・メニュー画面やメッセージなどの表示言語は、「 初期設定」メニューの「表示言語」で変更することができます。(27 ページ)

電源を切る

- 1 I/⏻ (オン/スタンバイ) ボタンを押す。
「パワーオフしますか?」というメッセージが表示されます。
- 2 メッセージが消える前に I/⏻ (オン/スタンバイ) ボタンをもう一度押す。

ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが回り続けます。

ファンが止まり、ON/STANDBY インジケーターが緑色の点滅から赤色の点灯に変わります。

この後、電源コードを抜くことができます。

ご注意

本機の電源が入っているときは、電源コードを抜かないでください。

上記の手順のかわりに I/⏻ (オン/スタンバイ) ボタンを約 1 秒押したままにしても電源が切れます。

3D 映像を楽しむ

本機では別売りのアクティブ 3D メガネ (TDG-BT500A) を使って、3D テレビゲームや 3D ブルーレイディスクなどの迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

1 接続した 3D 対応の HDMI 機器の電源を入れ、3D コンテンツを再生する。

3D コンテンツの再生方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源を入れ、3D 映像を映す。

映像の映しかたについて詳しくは、「映像を投写する」(12 ページ) をご覧ください。

3 3D メガネの電源を入れ、3D メガネを正しく装着する。

3D メガネの使いかたについて詳しくは、「3D メガネを使う」(13 ページ) をご覧ください。

ちょっと一言

本機は、3D 信号を検出したときに自動的に 3D 映像を映すよう、お買い上げ時に「2D-3D 表示選択」を「オート」に設定しています。

ご注意

- ・ 信号の種類によっては、自動的に 3D 映像は表示されません。視聴する映像の 3D フォーマットを確認して「2D-3D 表示選択」を「3D」に、「3D フォーマット」を「左右分割方式」または「上下分割方式」に設定してください。(29 ページ)
- ・ 3D メガネの受信範囲をご確認のうえ、ご使用ください。(13 ページ)
- ・ 3D 映像の見えかたには個人差があります。
- ・ 使用環境の温度が低いときは、3D 効果が出にくいことがあります。

3D の調整と設定

3D の調整と設定は、「 機能設定」メニューの「3D 設定」で行います。詳しくは、「3D 設定」をご覧ください。(29 ページ)

3D メガネを使う

1 3D メガネの電源を入れ、本機に 3D メガネを登録する。

登録の手順については、3D メガネの取扱説明書をご覧ください。

2 3D メガネをかける。

使用上のご注意

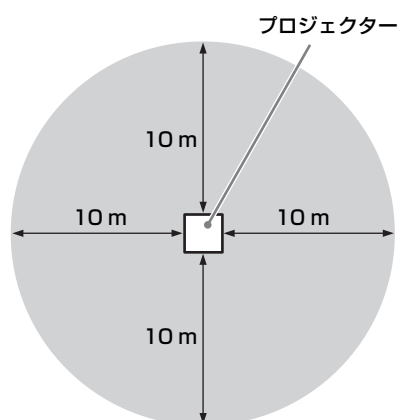
以下の場合に正しく動作しないことがあります。

- ・ 視聴している場所がプロジェクターから離れすぎている場合。
- ・ 無線 LAN (IEEE802.11 b/g/n) や電子レンジなどの 2.4 GHz 帯の機器が近くにある場合。

3D メガネの動作範囲

以下の図は、3D メガネの動作範囲の目安です。動作範囲を超えて視聴したり、本機を設置すると 3D メガネは動作しにくくなります。また、距離は部屋の環境や本機の設置状況によって異なります。

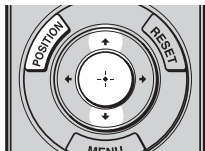
上または横から見た図



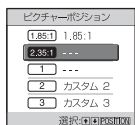
ピクチャーポジションを使う

レンズの設定（フォーカス、画面の大きさ、画面位置）とアスペクト比、ブランキングの組み合わせを5つまで保存、呼び出すことができます。

1 POSITION ボタンを押す。



ピクチャーポジション選択パレットが表示されます。



2 POSITION ボタンを繰り返し押すか、↑/↓/⊕ボタンを押してポジションを選ぶ。

選んだポジションが呼び出されます。

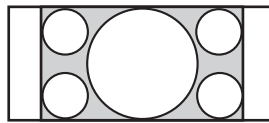
レンズの設定（フォーカス、画面の大きさ、画面位置）を保存する、または削除するときは、「 スクリーン設定」メニューの「ピクチャーポジション」で行います。（25 ページ）

アスペクト比、ブランキングを調整するときは「 スクリーン設定」メニューの「アスペクト」「ブランキング」で行います。（26 ページ）

レンズの設定が保存されていないポジションは「---」と表示されます。

レンズの動きのイメージ

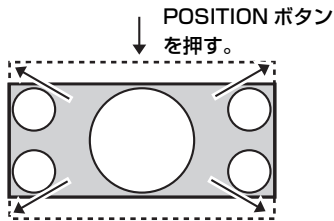
ここでは、2.35:1 スクリーンに 1.78:1 (16:9) と 2.35:1 のアスペクト映像を複数投写する場合を例としています。



1.78:1 (16:9) 映像を入力した状態



2.35:1 映像を入力した状態



2.35:1 映像がスクリーンいっぱいまで拡大されます。

ご注意

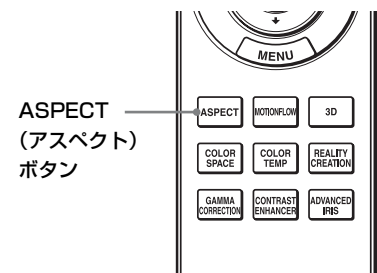
- ・ポジションを選択、確定するとレンズが動き出します。レンズ付近に物を置いたり、触れたりしないでください。けがや故障の原因になります。
- ・動作中にリモコンや本体のボタンを押すと、動作が停止します。その場合は再度ポジションを選択するか、レンズの調整を行ってください。
- ・ピクチャーポジション機能は、レンズ設定状態の再現を 100% 保証するものではありません。
- ・レンズズームを使って、複数のアスペクトのスクリーン画角を併用するときは、投写距離表（50 ページ）を参照して本機を範囲内に設置してください。設定位置によっては、この表の範囲内でもレンズシフトの範囲に制約が生じる場合があります。

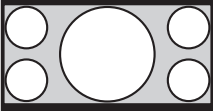
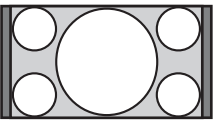
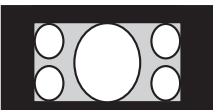
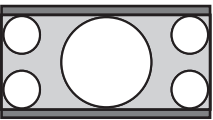
映像に合わせてアスペクト比を切り替える

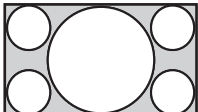
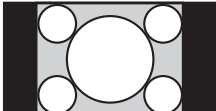
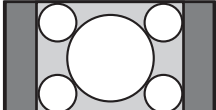
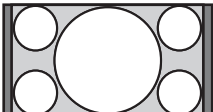
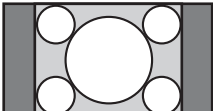
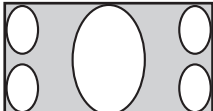
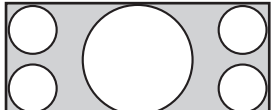
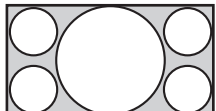
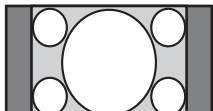
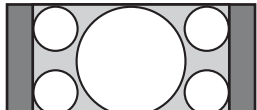
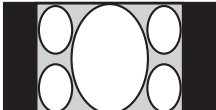
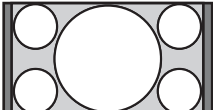
お好みのアスペクト比を選べます。

ASPECT ボタンを押す。

押すたびに、「アスペクト」の設定が順次切り替わります。
メニューでも選べます。(26 ページ)



オリジナル映像（16:9 表示時）	おすすめの設定とそのときに投写される映像
 1.85:1  スクイーズ 1.85:1	「1.85:1 ズーム」 
 2.35:1  スクイーズ 2.35:1	「2.35:1 ズーム」 

オリジナル映像（16:9 表示時）	おすすめの設定とそのときに投写される映像
 1.78:1 (16:9)  1.33:1 (4:3)  サイドパネル付き 1.33:1 (4:3)	「ノーマル」  
 2.35:1	「V ストレッチ」  ↓  アナモフィックレンズをお使いの場合
 16:9	「スクイーズ」  ↓  アナモフィックレンズをお使いの場合
 スクイーズ	「ストレッチ」 

ご注意

入力信号によって、選択できる項目が異なります。(46 ページ)

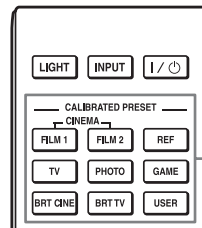
アスペクト切換時のご注意

- ・ テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご注意してアスペクトを選択してください。
- ・ 営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト切り替え機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画質を選ぶ

使用する場所や映像ソースに合った画質を選ぶことができます。各プリセットモードは、2D/3D それぞれで異なる設定を保存、使用することができます。

CALIBRATED PRESET ボタンを押す。



CALIBRATED PRESET
(キャリブレイテドプリセット)ボタン

設定モード	説明
CINEMA FILM 1 (シネマ フィルム 1)	最高画質といわれるマスターポジフィルム（ダイナミックレンジの広い、透明感のある画質）を再現する画質設定
CINEMA FILM 2 (シネマ フィルム 2)	「シネマ フィルム 1」をベースにした、実際の映画館の映像美を再現する画質設定
CINEMA DIGITAL (シネマ デジタル) *1	DCI仕様（43 ページ）に近似させながら、デジタルシネマ画質を再現する画質設定
REF (リファレンス)	コンテンツの持つ画質そのものを忠実に再現したい場合や、調整のない素直な画質を楽しむのに適した画質設定
TV (TV)	テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定
PHOTO (フォト)	デジタルカメラなどの静止画に適した画質設定
GAME (ゲーム)	ゲーム用にメリハリある色再現や応答性に優れた画質設定
BRT CINE (ブライトシネマ)	明るい環境で、映画を見るのに適した画質設定
BRT TV (ブライトTV)	明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定
USER1 (ユーザー 1)、 USER2 (ユーザー 2)、 USER3 (ユーザー 3) *2	お好みに合わせた画質に調整、設定し保存。お買い上げ時は「リファレンス」と同じ設定

*1 : CINEMA DIGITAL (シネマ デジタル) はリモコンボタンでは選択できません。

*2 : USER ボタンを押すと、USER1 (ユーザー 1) が選択されます。USER2 (ユーザー 2) と USER3 (ユーザー 3) はリモコンボタンでは選択できません。

メニュー画面で調整や設定をする

この章では、メニュー画面で画質を細かく調整したり、画面の位置やサイズ、アスペクトを調整するなどの操作を説明しています。

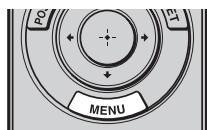
ご注意

説明で使用している画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。あらかじめご了承ください。

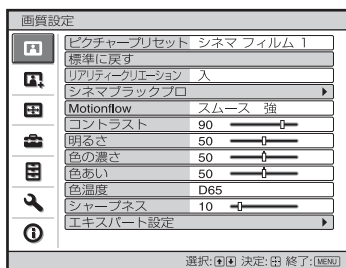
メニュー操作のしかた

本機では、各種調整や設定をメニュー画面で行います。項目名の後ろに矢印(▶)が付いた項目を選べると、次の階層に設定できる項目が表示されます。

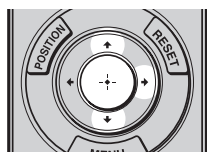
1 MENU ボタンを押す。



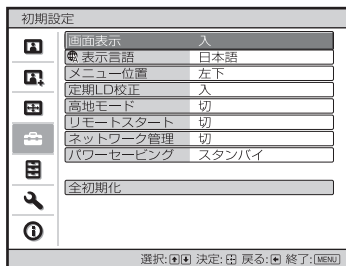
メニュー画面が表示されます。



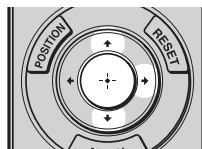
2 ↑/↓ ボタンを押してメニュー項目を選び、→ または Ⓢ ボタンを押す。



調整／設定できる項目が表示され、現在選ばれている項目が白色で表示されます。

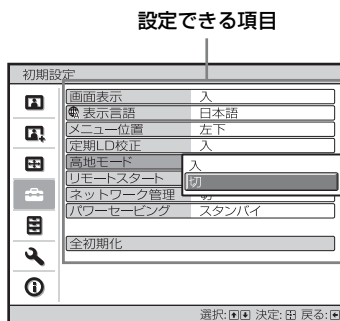


3 ↑/↓ ボタンを押して設定したい項目を選び、→ または Ⓢ ボタンを押す。

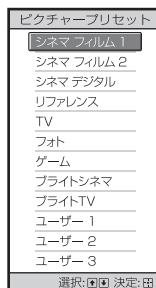


設定できる項目が、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニューまたは次の階層に表示されます。

ポップアップメニュー



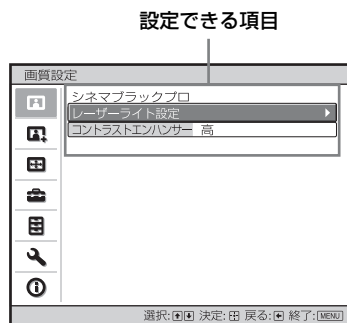
設定メニュー



調整メニュー



次の階層に表示された画面



ご注意

リモコンの RESET ボタンは、調整メニューまたは設定メニューが選択されている状態でのみ有効です。

4 調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合は

数値を大きくしたいときは、**↑/→** ボタンを押す。

数値を小さくしたいときは、**↓/←** ボタンを押す。

⏏ ボタンを押すと設定が確定し、元のメニュー画面に戻ります。

設定を変更する項目の場合は

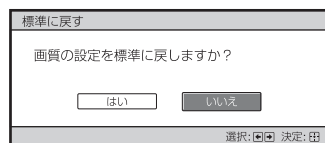
↑/↓ ボタンを押して設定を選ぶ。**⏏** ボタンを押すと元の画面に戻ります。ただし項目によっては **←** ボタンでも元の画面に戻ります。

メニュー画面を消すには

MENU ボタンを押す。

調整した画質をお買い上げ時の値に戻すには

[画質設定] メニューから「標準に戻す」を選択する。



画面表示されたら **←** ボタンで「はい」を選択して **⏏** ボタンを押す。

次の全項目の設定値がお買い上げ時の値に戻ります。

[画質設定] メニューの「リアリティークリエーション」、「シネマブラックプロ」、「Motionflow」、「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「色温度」、「シャープネス」および「エキスパート設定」の各項目

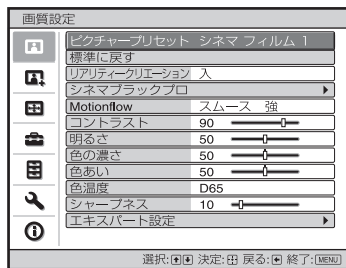
調整、設定した項目をお買い上げ時の値に戻すには

メニュー画面で項目を選び、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニューを表示する。

リモコンの RESET ボタンを押すと、選択した項目のみお買い上げ時の値に戻ります。

画質設定メニュー

画質を調整するメニューです。



[]内の項目名はリモコン記載の名称です。

設定項目	項目説明
ピクチャープリセット [CALIBRATED PRESET]	使用する場所や映像ソースに合った画質を選ぶことができます。 各プリセットモードは、2D / 3Dそれぞれで異なる設定を保存、使用することができます。 「シネマ フィルム 1」：最高画質といわれるマスターポジフィルム（ダイナミックレンジの広い、透明感のある画質）を再現する画質設定です。 「シネマ フィルム 2」：「シネマ フィルム 1」をベースにした、実際の映画館の映像美を再現する画質設定です。 「シネマ デジタル」：DCI仕様（43ページ）に近似させながら、デジタルシネマ画質を再現する画質設定です。 「リファレンス」：コンテンツの持つ画質そのものを忠実に再現したい場合や、調整のない素直な画質を楽しむのに適した画質設定です。 「TV」：テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定です。 「フォト」：デジタルカメラなどの静止画に適した画質設定です。 「ゲーム」：ゲーム用にメリハリある色再現や応答性に優れた画質設定です。 「ブライトシネマ」：明るい環境で、映画を見るのに適した画質設定です。 「ブライト TV」：明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像を見るのに適した画質設定です。 「ユーザー 1」～「ユーザー 3」：お好みに合わせた画質に調整、設定し、保存できます。お買い上げ時は「リファレンス」と同じ設定になっています。 ちょっと一言 画質を調整した場合はその設定が入力端子ごとに保存されます。
標準に戻す	現在選択しているプリセットモードの設定を、すべてお買い上げ時の設定に戻します。（18ページ） ちょっと一言 「色温度」のカスタム 1～5 の調整値は保持されます。
リアリティークリエーション [REALITY CREATION]	精細度とノイズ処理を調整してリアルな画像にします。（超解像機能） 「入」：リアリティークリエーションの設定を変更できます。 「データベース」：「ノーマル」または「Mastered in 4K」を選びます。 「Mastered in 4K」は、ソニー・ピクチャーズエンタテインメント製の Blu-ray Disc™（Mastered in 4K）に適した画質になります。 「精細度」：設定値を上げると、質感やディテール感が向上し、鮮鋭感のある映像になります。 「ノイズ処理」：設定値を上げると、ザラツキ等のノイズが目立たなくなります。 「入 / 切 比較」：「入」「切」が一定周期で切り替わり、リアリティークリエーションの効果を確認することができます。 ちょっと一言 比較中のステータスの表示位置は「メニュー位置」（27ページ）の設定に連動します。 「切」：リアリティークリエーション機能をオフにします。

設定項目	項目説明
シネマブラックプロ	
レーザーライト設定	「ダイナミックコントロール」：レーザー調光の可動範囲を変更できます。 「フル」：入力ソースの輝度レベルに応じてレーザー調光と信号処理を自動で調整して光量を最適化します。明るく、高いコントラストによる力強い映像が特徴です。 「リミテッド」：「フル」よりレーザー調光の動きや明るさを抑え、暗室での視聴に適した設定になります。 「切」：ダイナミックコントロール機能をオフにします。 「出力」：設定値を大きくすると明るくなり、小さくすると暗くなります。 ちょっと一言 視聴する映像の明るさに応じて「出力」を調整してください。
コントラストエンハンスー [CONTRAST ENHANCER]	シーンに応じた最適なコントラストが得られるよう、明部・暗部のレベルを自動的に補正します。映像のメリハリが増し、躍動感のある映像になります。 「強」、「中」、「弱」：コントラストエンハンスーの効果を変更できます。 「切」：コントラストエンハンスー機能をオフにします。
Motionflow（モーションフロー） [MOTIONFLOW]	「インパルス」：元映像を忠実に再現します。映画館同様の映像表現に適していますが、画面がちらつくことがあります。 「コンビネーション」：明るさは保ちつつ、動きの速い映像のぼやけを軽減します。 「スムーズ強」：動きを滑らかにします。特に映画などに効果的です。 「スムーズ弱」：動きが滑らかな標準的な映像にします。 「True Cinema」：毎秒 24 フレームで作成されたムービーなどの画像をオリジナルのフレームレートで再現します。 「切」：モーションフロー機能をオフにします。 ちょっと一言 ・「スムーズ強」や「スムーズ弱」、「インパルス」、「コンビネーション」、「True Cinema」を設定して画乱れなどが発生する場合は、この設定を「切」にしてください。 ・「インパルス」を選択すると、映像が暗くなります。また、ちらつきなどを感じる場合があります。 ・映像により、設定を変更しても効果が表れない場合があります。 ・解像度 4096 × 2160 信号入力時は、「切」と「インパルス」のみ選択できます。
コントラスト [CONTRAST]	映像のコントラストを調整します。 設定値を大きくすると映像のメリハリが強くなり、小さくすると弱くなります。 「HDR」が「HDR10」、「HLG」、または「オート」で HDR 信号が入力されたとき、表示は「コントラスト (HDR)」になります。
明るさ [BRIGHTNESS]	映像の明るさ（輝度）を調整します。 設定値を大きくすると明るくなり、小さくすると暗くなります。
色の濃さ	色の濃さを調整します。 設定値を大きくすると濃くなり、小さくすると薄くなります。
色あい	色あいを調整します。 設定値を大きくすると緑がかり、小さくすると赤みがかります。

設定項目	項目説明
色温度 [COLOR TEMP]	色温度を調整します。 「D93」：一部のテレビで標準的に用いられる 9,300 K 相当の色温度です。白い部分が青みがかった冷たい色調になります。 「D75」：補助標準光とされる 7,500 K 相当の色温度です。「D93」と「D65」の中間の色調になります。 「D65」：標準光とされる 6,500 K 相当の色温度です。白い部分が赤みがかった暖かい色調になります。 「DCI」：DCI 仕様（43 ページ）の色温度です。 「D55」：補助標準光とされる 5,500 K 相当の色温度です。白い部分がさらに赤みがかった暖かい色調になります。 「カスタム 1 ～ 5」：好みに合わせた色温度を調整、設定、保存できます。 お買い上げ時は、以下のように設定されています。 カスタム 1：色温度は「D93」と同じ設定 カスタム 2：色温度は「D75」と同じ設定 カスタム 3：色温度は「D65」と同じ設定 カスタム 4：色温度は「DCI」と同じ設定 カスタム 5：明るさを優先した設定 ちょっと一言 すべてお好みに合わせた色温度に調整可能です。
シャープネス [SHARPNESS]	映像の輪郭をはっきりさせたり、ノイズを目立たなくします。 設定値を大きくすると輪郭がくっきりし、小さくすると柔らかくなりノイズを目立たなくします。
エキスパート設定	
NR（ノイズリダクション）	映像のざらつきやノイズを軽減します。 「オート」：入力ソースのノイズレベルを検出し、自動でざらつきやノイズを軽減します。 「強」、「中」、「弱」：入力ソースのざらつきやノイズに応じて選択してください。 「切」：NR（ノイズリダクション）機能をオフにします。 ちょっと一言 入力ソースによっては、「オート」でノイズレベルを正しく検出できない場合があります。「オート」で映像に違和感がある場合は、「強」、「中」、「弱」、「切」の中から好みに応じて選択してください。
MPEG NR（MPEG ノイズリダクション）	デジタル特有のブロックノイズやモスキートノイズを軽減します。 「オート」：入力ソースのノイズレベルを検出し、自動でブロックノイズやモスキートノイズを軽減します。 「強」、「中」、「弱」：入力ソースのブロックノイズやモスキートノイズに応じて選択してください。 「切」：MPEG NR（MPEG ノイズリダクション）機能をオフにします。 ちょっと一言 入力ソースによっては、「オート」でノイズレベルを正しく検出できない場合があります。「オート」で映像に違和感がある場合は、「強」、「中」、「弱」、「切」の中から好みに応じて選択してください。
スムーズグラデーション	画像の平坦部のグラデーションを滑らかにします。 「強」、「中」、「弱」：スムーズグラデーションの効果を変更できます。 「切」：スムーズグラデーション機能をオフにします。 ちょっと一言 この機能は 3D 信号では設定できません。
フィルムモード	映像の素材にあわせて、再生する方法を設定します。 「オート」：映画オリジナルの動きを再現するのに適しています。通常は「オート」のままお使いください。 「切」：上記自動検出を行わず、プログレッシブ再生のみ行います。 ちょっと一言 この機能は 1080i 信号でのみ有効です。

設定項目	項目説明
ガンマ補正 [GAMMA CORRECTION]	補正映像の階調の応答特性を設定します。 好みに合わせて 10 通りの階調の中から選択できます。 「1.8」：明 全体的に明るい映像になります。 「2.0」 「2.1」 「2.2」 「2.4」 「2.6」：暗 全体的に暗い映像になります。 「ガンマ 7」：フィルムガンマカーブに準じた設定になっています。 「ガンマ 8」：メリハリのある画質になります。少し明るめの環境でご覧になる場合に選択してください。 「ガンマ 9」：「ガンマ 8」をより明るくした画質になります。 「ガンマ 10」：メリハリのある画質になります。少し明るめの環境でテレビ番組などをご覧になる場合に選択してください。 「切」：ガンマ補正機能をオフにします。
カラーコレクション	「入」：選択した色の色合い、色の濃さ、明るさを調整します。 下記の①、②を繰り返して調整したい色を決めます。 ① ↑/↓ ボタンで「色選択」を選び、←/→ ボタンで、調整したい色を「赤」、「黄」、「緑」、「シアン」、「青」、「マゼンタ」から選ぶ。 ② ↑/↓ ボタンで「色合い」、「色の濃さ」または「明るさ」を選び、投影画面を見ながら ←/→ ボタンで好みの色になるように調整する。 「切」：カラーコレクション機能をオフにします。
クリアホワイト	好みに合わせて、白の鮮明さを強調できます。 「強」、「弱」：クリアホワイトの効果を変更できます。 「切」：クリアホワイト機能をオフにします。
x.v.Color	x.v.Color に対応した機器を接続し、x.v.Color 映像信号を再生する場合に設定します。 「入」：x.v.Color 映像信号を再生できます。 「切」：x.v.Color 機能をオフにします。 x.v.Color について詳しくは、「x.v.Color (エックスバイ・カラー) について」(43 ページ) をご覧ください。 ちょっと一言 x.v.Color が「入」のときは、ガンマ補正は調整できません。
HDR	HDR コンテンツを再生する方法を設定します。 「オート」：自動で HDR コンテンツを判別して最適な画質設定にします。信号が BT.2020 に対応しているとき、「カラースペース」は「BT.2020」と「カラースペース 2」が選択可能です。 BT.2020 以外の信号のときは、「カラースペース」は「BT.2020」と「カラースペース 2」以外のモードが選択可能です。(このとき、「BT.2020」と「カラースペース 2」は選択できません。) 「HDR10」：HDR10 規格に準拠したコンテンツを再生する場合に設定します。 「HLG」：HLG 規格に準拠したコンテンツを再生する場合に設定します。 「切」：HDR コンテンツ以外を再生する場合に設定します。 「HDR10」、「HLG」または「切」のときは、「カラースペース」は全モード選択可能です。 ご注意 入力したコンテンツに対して設定が合っていないと明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなりすぎたりします。

設定項目	項目説明
カラースペース [COLOR SPACE]	色空間を切り替えます。 「BT.709」：ITU-R BT.709の色空間です。sRGB と同等の色空間となります。 「BT.2020」：BT.709 より広い色再現領域を持つ ITU-R BT.2020 に近似した色空間となります。HDR コンテンツの再生時にご使用ください。 「DCI」：DCI仕様（43 ページ）に準じた色空間です。 「Adobe RGB」：sRGB より広い色再現領域を持つ Adobe RGB に近似した色空間で、Adobe RGB 規格で記録した映像の表示に適しています。 「カラースペース 1」：ビデオ映像に適した色空間です。 「カラースペース 2」：明るい空間で HDR コンテンツを見るのに適した色空間です。 「カラースペース 3」：明るい空間で映画およびビデオ映像を見るのに適した色空間です。 「カスタム 1」、「カスタム 2」：お好みの色空間に調整できます。



ちょっと一言

すべてお好みに合わせた色空間に調整可能です。

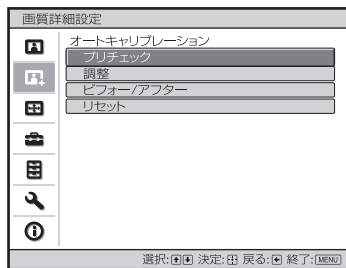
ご注意

「HDR」を「オート」に設定した場合、信号の種類によって選択できるモードが変わります。(22 ページ)

遅延低減	映像の表示遅延を低減します。 「入」：入力された映像が表示されるまでの時間を短縮します。外部コントローラーの使用時など、動作に対する表示の反応を速めたいときに効果があります。 「切」：遅延低減機能をオフにします。 ちょっと一言 「遅延低減」が「入」のときは、以下の項目は設定できません。 「Motionflow」の「コンビネーション」「スムーズ強」「スムーズ弱」「True Cinema」
------	--

画質詳細設定メニュー

本機を長時間使用することで発生する色の変化（ズレ）を補正することができます。



設定項目	項目説明
オートキャリブレーション	「プリチェック」 ：キャリブレーションの前に、お買い上げ時からの色差をチェックします。 「調整」 ：オートキャリブレーションを実施します。 「ビフォー/アフター」 ：お買い上げ時の設定とキャリブレーション後の設定が一定の周期で切り替わり、実際の映像を見ながらキャリブレーションの効果を確認できます。 「リセット」 ：キャリブレーション結果がリセットされ、お買い上げ時の設定に戻ります。

ご注意

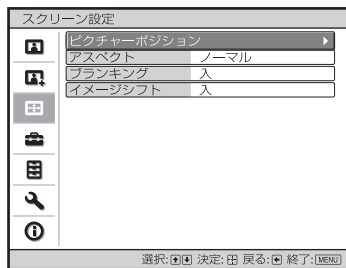
- ・本機能は簡易的なキャリブレーション機能です。本機能により、必ずしもお買い上げ時と同じ色になることを保証するものではありません。
- ・「プリチェック」や「調整」実行中は、自動的に各色が投影されますが異常ではありません。また、まれに電源オフ時に同様の現象が発生しますが、本機の調整を行うためであり、異常ではありません。
- ・「プリチェック」や「調整」実行中は、電源を切ったりリモコンやコントロールパネルを操作すると「プリチェック」や「調整」がキャンセルされますのでご注意ください。

ちょっと一言

- ・dE は色の変化を表す指標です。dE が小さいほど色の変化が少ないことを示しています。
- ・本機の電源を入れてから 30 分以上経ってから実施してください。
- ・「プリチェック」や「調整」を開始すると終了するまでに数分かかります。
- ・「プリチェック」や「調整」を開始すると、レンズが工場出荷時の位置に自動的に戻るため、画面の位置が動く場合があります。終了後に画面は元の位置に自動的に戻ります。
- ・「プリチェック」や「調整」実行中に、部屋の明るさなど外部環境を変えると適切な結果が得られないことがあります。
- ・「プリチェック」、「調整」は失敗することがあります。そのときはもう一度実施してください。

スクリーン設定メニュー

画面のサイズやアスペクト切り替えなどを設定できます。



ご注意

入力する信号の種類によっては、調整／設定できない項目があります。詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」(46 ページ)をご覧ください。

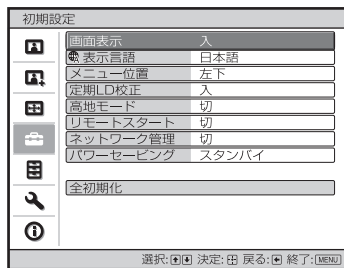
[] 内の項目名はリモコン記載の名称です。

設定項目	項目説明
ピクチャーポジション [POSITION]	レンズの設定とアスペクト比、ブラッキングの組み合わせを5つまで保存することができます。 レンズ（フォーカス、画面の大きさ、画面位置）の設定後、調整したスクリーン画角に合わせて「1.85:1」、「2.35:1」、「カスタム1」～「カスタム3」の中から好みのポジションを選択、確定したあと、「保存」、「削除」、または「選択」を行ってください。 「保存」：現在のレンズの設定（フォーカス、画面の大きさ、画面位置）を、選択したポジションに保存します。すでに調整状態が保存されている場合は上書きします。 「削除」：保存されている調整状態を削除します。削除されると、「1.85:1」、「2.35:1」、「カスタム1」～「カスタム3」の表示が「—」に変わります。 「選択」：選択したポジションが呼び出されます。 ちょっと一言 ・各ピクチャーポジションには、最適なアスペクトがあらかじめ登録されています。これらのアスペクトはピクチャーポジションごとに変更、保存することができます。 ・ピクチャーポジションを保存するとき、保存したい位置から一旦下方向に5 cm 以上動かし、次に上方向に動かしてから保存すると、呼び出したときのピクチャーポジションの精度が向上します。 ご注意 ・ポジションを選択、確定するとレンズが動き出します。レンズ付近に触れないでください。けがや故障の原因になります。 ・動作中にリモコンや本体のボタンを押すと動作が停止します。その場合は再度ポジションを選択するか、レンズの調整を行ってください。 ・ピクチャーポジション機能を使って 2.35:1 と 16:9 の画角を併用する場合は、本機の設置位置にご注意ください。(14 ページ) ・ピクチャーポジション機能は、レンズ調整状態の再現を 100% 保証するものではありません。 ・「レンズコントロール」が「切」のときは、ピクチャーポジションは設定できません。

設定項目	項目説明								
アスペクト [ASPECT]	入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します。(15 ページ) 「1.85:1 ズーム」: 1.85:1 映像の上下の黒帯が表示されないように縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。 「2.35:1 ズーム」: 2.35:1 映像の上下の黒帯の表示範囲が小さくなるように縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。「 設置設定」メニューの「トリガー切替 1/2」で「2.35:1 ズーム」を選ぶと、TRIGGER 1/TRIGGER 2 端子から 12 V の信号が出力されます。(32 ページ) 「ノーマル」: 入力映像の縦横比を維持したまま画面いっぱいに映します。1.78:1 (16:9)、1.33:1 (4:3) 映像におすすめの設定です。 「V ストレッチ」: 市販のアナモフィックレンズを用いて、2.35:1 映像を 2.35:1 スクリーンで見る場合に最適なモードです。「 設置設定」メニューの「トリガー切替 1/2」で「V ストレッチ」を選ぶと、TRIGGER 1/TRIGGER 2 端子から 12 V の信号が出力されます。(32 ページ) 「スクイーズ」: 市販のアナモフィックレンズを用いて、1.78:1 (16:9) や 1.33:1 (4:3) 映像を見る場合に、正しい縦横比で映します。 「ストレッチ」: 1.33:1 (4:3) にスクイーズされた映像を 1.78:1 (16:9) の縦横比で映します。 ちょっと一言 ・「V ストレッチ」、「スクイーズ」選択時は、「 設置設定」メニューの「アナモフィックレンズ」で、ご使用になるアナモフィックレンズに合わせてタイプを選択してください。 ・入力信号によって、選択できる項目が異なります。(46 ページ) ・アスペクトは5つのピクチャーポジションごとに設定が保存されます。ピクチャーポジションを選択した後で、アスペクトの調整を行ってください。調整の最終値が自動的に保存されます。								
ブランキング	画面の上下左右の表示領域を調整します。 「入」: / ボタンで変更をしたいスクリーンの側面を「左 / 右 / 上 / 下」の中から選択します。 / ボタンでブランキング量を調整します。 ブランキング <table border="1"> <tbody> <tr><td>左:</td><td>2</td></tr> <tr><td>右:</td><td>3</td></tr> <tr><td>上:</td><td>2</td></tr> <tr><td>下:</td><td>3</td></tr> </tbody> </table> 選択:   調整:   決定:  「切」: ブランキング機能をオフにします。 ちょっと一言 ・アスペクト設定によっては、左右にブランキングがかからない場合があります。 ・ブランキングは5つのピクチャーポジションごとに設定が保存されます。ピクチャーポジションを選択した後で、ブランキングの調整を行ってください。調整の最終値が自動的に保存されます。	左:	2	右:	3	上:	2	下:	3
左:	2								
右:	3								
上:	2								
下:	3								
イメージシフト	「入」: 映像の位置を調整します。 「H」(水平): 数値が大きくなると映像が右に、小さくなると左に移動します。 「V」(垂直): 数値が大きくなると映像が上に、小さくなると下に移動します。 「切」: イメージシフト機能をオフにします。 ちょっと一言 本機を 2 台左右に並べて 1 つの映像を表示する場合、映像を移動させることで、左右の映像のつなぎ目を合わせることができます。								

初期設定メニュー

お買い上げ時の設定などを変更するメニューです。



設定項目	項目説明
画面表示	メニューやメッセージなどを表示するかを設定します。 「入」：メニューやメッセージを表示します。 「切」：一部のメニュー表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出なくなります。 「全切」：一部のメニュー表示、電源を切るときの確認メッセージ以外の画面表示が出なくなります。 ご注意 ・「全切」を選択した場合は、温度の警告メッセージは表示されません。お客様の責任でご使用ください。 ・「全切」を選択したことによって発生した事故や機器の故障に対して補償は一切いたしませんのであらかじめご了承ください。
表示言語	メニュー画面やメッセージなどの表示言語を設定します。
メニュー位置	画面上のメニューの表示位置を変えることができます。 「左下」：メニューを画面の左下に表示します。 「中央」：メニューを画面の中央に表示します。
定期 LD 校正	一定の使用時間を経過すると自動でキャリブレーションを行います。その際、キャリブレーションは本体の I/O ボタンまたはリモコンの O ボタンを押すと始まり、キャリブレーション終了後に電源が切れます。 「入」：自動でキャリブレーションを行います。 「切」：自動でキャリブレーションは行いません。
高地モード	気圧に応じて設定します。 「入」：1,500 m 以上の高地で使用する場合に設定します。 「切」：平地での使用時に設定します。 ちょっと一言 設定を「入」にした場合、ファンの回転数が上がるため、音が少し大きくなります。
リモートスタート	リモートスタートを設定します。 「入」：ネットワーク接続されている環境で、パソコンなどから本機の電源を入れることができます。 「切」：リモートスタート機能をオフにします。 ちょっと一言 ・あらかじめ、ネットワーク設定（34 ページ）を正しく設定し、本機がネットワークに接続されている必要があります。 ・リモートスタート機能で本機の電源を入れるには、パソコンなどから特殊コマンドを送信する必要があります。詳しくはソニーの相談窓口にご相談ください。 ご注意 リモートスタートを「入」にするとスタンバイ時の待機電力が増えます。また、ネットワーク管理を「入」にすると、リモートスタートの設定は「入」に固定されメニューには表示されません。

設定項目	項目説明
ネットワーク管理	「入」：ネットワーク接続されている環境で、プロジェクター制御機器との通信を常時行う際に設定します。 「切」：ネットワーク管理機能を無効にします。 ご注意 ネットワーク管理を「入」にすると常時ネットワーク機能が有効になります。通常は「切」のまま利用してください。「入」に設定した場合、消費電力が増加します。
パワーセービング（節電モード）	パワーセービングを設定します。 「スタンバイ」：本体に信号が入力されない状態が10分以上続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。 「切」：パワーセービング機能を無効にします。
全初期化	本体メニューによる設定およびリモート接続された機器からの調整データを、すべて工場出荷時の設定に戻します。

機能設定メニュー

本機の機能の設定を変更するメニューです。



設定項目	項目説明
3D 設定	3D に関する設定を変更できます。
2D-3D 表示選択	映像の表示を 2D と 3D に切り替えます。 「オート」：3D 情報 * が含まれる HDMI 信号を入力したときは 3D で表示し、それ以外の信号のときは 2D で表示します。 「3D」：「3D フォーマット」で選択した 3D 方式で表示します。ただし、3D 情報が含まれる HDMI 信号を入力した場合は、信号に含まれる 3D 情報の形式に従って表示します。 「3D フォーマット」：3D 情報を含まない信号を受信したとき、どのフォーマットに従って映像を 3D 表示するかを設定します。 「シミュレーテッド 3D」：通常の 2D 映像を 3D 映像に変換します。HD 信号のときのみ設定可能です。映像ソースによっては 3D 効果が現れにくい場合があります。 3D 映像の見えかたには個人差があります。 「左右分割方式」：類似の映像が左右に並んで表示される 3D 方式のときに選びます。 「上下分割方式」：類似の映像が上下に並んで表示される 3D 方式のときに選びます。 ちょっと一言 ・映像のソースによっては「2D-3D 表示選択」を「3D」に設定できません。対応している 3D 信号については「対応 3D 信号一覧」(46 ページ)をご覧ください。 ・画面サイズ (100 ～ 120 インチを推奨) や映像のソースによっては 3D 効果が現れにくいことがあります。 ・3D 表示中は、メニュー画面が二重に見える場合があります。その場合は、3D メガネをかけてメニュー画面を操作してください。
3D 明るさ	3D 表示時の画面の明るさを調整します。 「明」「標準」の 2 段階から選択できます。
3D 奥行き調整	画面上の 3D 表示の奥行きを調整します。 「シミュレーテッド 3D」以外の方式で 3D 表示している場合に調整できます。 奥行き感 -2 -1 0 +1 +2 手前 ← 通常 → 奥 通常は「0」がおすすめです。設定によっては 3D として見えにくくなります。
シミュレーテッド 3D 効果	2D コンテンツを 3D に変換しているときの 3D 効果を調整します。 「強」「中」「弱」の 3 段階から選択できます。 ちょっと一言 シミュレーテッド 3D 機能による 3D 映像の見えかたには個人差があります。

設定項目	項目説明
ダイナミックレンジ	HDMI 1、HDMI 2 端子の映像入力レベルを設定します。 「オート」：自動で映像入力レベルを判別します。 「リミテッド」：映像入力レベルが、16-235 相当のときに設定します。 「フル」：映像入力レベルが、0-255 相当のときに設定します。 ご注意 HDMI 接続機器の映像出力設定が合っていないと、明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなりすぎたりします。
HDMI 信号フォーマット	4K の映像信号フォーマットを切り替えます。 「標準フォーマット」：標準的な HDMI フォーマットで映像を表示します。通常はこの設定をご使用ください。 「拡張フォーマット」：より高精細な HDMI フォーマットで映像を表示します。対応機器を使用するときのみ、この設定をご使用ください。 ちょっと一言 ・「拡張フォーマット」選択時に映像や音声が正常に出力されないことがあります。その場合は「標準フォーマット」に設定してください。 ・「拡張フォーマット」は対応機器を使用するときのみ設定してください。 ・フォーマットを切り替えてから出画するまでに時間がかかることがあります。
テストパターン	テストパターン表示の有無を選択します。 「入」：レンズのフォーカス、ズーム、シフト調整時に、テストパターンが表示されます。 「切」：テストパターンが表示されません。 ちょっと一言 テストパターン表示時は、フォーカスが合わせやすいように緑単色の表示となります。
セッティングロック	誤って操作することを防ぐために、メニューの調整、または設定項目をロックします。(31 ページ) 「切」：セッティングロックを解除します。 「レベル A」：下記のグループ 1 の項目は、メニューに表示されなくなり、操作ができなくなります。 「レベル B」：下記のグループ 1 と 2 の項目は、メニューに表示されなくなり、操作ができなくなります。

セッティングロックによってロックされる項目

グループ 1

画質設定メニュー

標準に戻す
リアリティークリエーション
レーザーライト設定
コントラストエンハンサー
Motionflow
コントラスト
明るさ
色の濃さ
色あい
色温度
シャープネス
NR
MEPG NR
スムーズグラデーション
フィルムモード
ガンマ補正
カラーコレクション
クリアホワイト
x.v.Color
HDR
カラースペース
遅延低減

画質詳細設定メニュー

オートキャリブレーション

初期設定メニュー

定期 LD 校正

グループ 2

初期設定メニュー

画面表示
表示言語
メニュー位置
高地モード
リモートスタート
ネットワーク管理
パワーセービング

機能設定メニュー

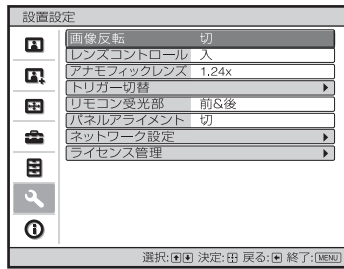
ダイナミックレンジ
テストパターン

設置設定メニュー

画像反転
レンズコントロール
アナモフィックレンズ
トリガー切替
リモコン受光部
パネルアライメント
ネットワーク設定

🔧 設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。



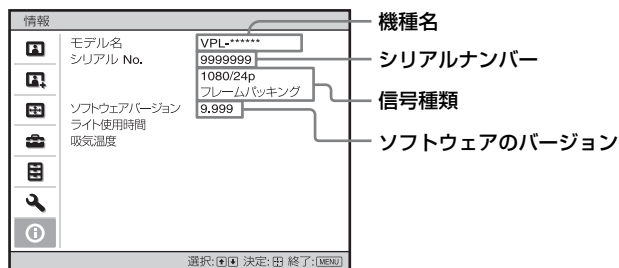
設定項目	項目説明
画像反転	画像を水平または垂直方向に反転します。 「上下左右」：画像を水平および垂直方向に反転します。 「左右」：画像を水平方向に反転します。 「上下」：画像を垂直方向に反転します。 「切」：画像を反転しません。 天井つり設置やスクリーンの裏面投射設置するときなどに使用します。
レンズコントロール	レンズ関連の調整（「レンズフォーカス」、「レンズズーム」、「レンズシフト」）を誤って変更しないようにします。 「入」：レンズの調整ができます。 「切」：レンズの調整ができません。
アナモフィックレンズ	アナモフィックレンズの変換倍率に合わせて選択します。 「1.24x」：水平 1.24 倍のアナモフィックレンズ使用の場合に選択します。 「1.32x」：水平 1.32 倍のアナモフィックレンズ使用の場合に選択します。
トリガー切替	TRIGGER 1/TRIGGER 2 端子の出力機能を切り替えます。 「切」：トリガー端子の機能をオフにします。 「電源」：本機の電源が入っているとき、TRIGGER 1、TRIGGER 2 端子から 12 V の信号を出力します。本機がスタンバイ状態のときは、信号は出力されません。 「V ストレッチ」：「アスペクト」（26 ページ）の「V ストレッチ」選択時に連動して TRIGGER 1、TRIGGER 2 端子から 12 V の信号を出力します。 「2.35:1 ズーム」：「アスペクト」（26 ページ）の「2.35:1 ズーム」選択時に連動して TRIGGER 1、TRIGGER 2 端子から 12 V の信号を出力します。 「3D」：3D 信号入力時、または「3D 設定」の「2D-3D 表示選択」（29 ページ）で「3D」を選択時に連動して TRIGGER 1、TRIGGER 2 端子から 12V の信号を出力します。
リモコン受光部	リモコンの効きが悪いとき、本体前面と後面にあるリモコン受光部を切り替えます。 「前&後」：前面と後面のリモコン受光部を両方働かせます。 「前」：前面のリモコン受光部のみを働かせます。 「後」：後面のリモコン受光部のみを働かせます。

設定項目	項目説明
パネルアライメント	投写画面上の文字や映像の色ずれを微調整します。 「入」:「調整アイテム」と「調整色」を選択して、色ずれを調整できます。 「調整アイテム」:調整方法を以下より選択します。 「シフト」:画面全体をシフトして調整します。 「ゾーン」:調整したい範囲を指定して調整します。 「調整色」:色ずれの気になる色を指定します。「G」(緑)を基準に調整するため、「R」(赤)または「B」(青)を選択します。 「調整パターン色」:「調整色」が「R」(赤)の場合は、「R/G」(赤と緑)または「R/G/B」(白、全色)を選択します。「調整色」が「B」(青)の場合は、「B/G」(青と緑)または、「R/G/B」(白、全色)を選択します。 「調整」:「調整色」で選択した色のシフト調整およびゾーン調整を、←/→、↑/↓ ボタンで行います。 「シフト」選択時:シフト調整画面で ←/→ ボタンで水平方向 (H)、↑/↓ ボタンで垂直方向 (V) の調整量を設定します。 パネルシフトアライメント 調整色: R  H: 0 V: 0 調整: ←/→ ↑/↓ 決定: ⏹ 「ゾーン」選択時:調整する位置を、←/→ ボタンで水平位置 (H 位置)、↑/↓ ボタンで垂直位置 (V 位置) を選択し、⊕/⊖ ボタンを押します。 パネルゾーンアライメント 調整色: R  H位置: 10 V位置: 10 選択: ⊕/⊖ ←/→ ↑/↓ 決定: ⏹ 戻る: ⏮ ←/→ ボタンで水平方向 (H)、↑/↓ ボタンで垂直方向 (V) の調整量を設定します。⊕/⊖ ボタンを押すと、調整する位置を再度選択できます。 パネルゾーンアライメント 調整色: R  H: 0 V: 0 調整: ⊕/⊖ ←/→ ↑/↓ 決定: ⏹ 戻る: ⏮ 「リセット」:設定がお買い上げ時の値に戻ります。 「切」:補正データがプリセットされています。 ご注意 調整値によっては、色付きや解像感に変化が生じる場合があります。

設定項目	項目説明
ネットワーク設定	インターネットプロトコル設定を行います。
IPv4 設定	「IP アドレス設定」：IP アドレスの設定方法を選択します。 「自動 (DHCP)」：ルーターなどの DHCP サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 「手動」：手動でネットワークを設定します。「IP アドレス設定」で「手動」を選択したときには、←/→ ボタンで入力する項目を選び、↑/↓ ボタンで値を入力します。全ての設定が終了したら、「適用」を選び、⊕ ボタンを押すと設定が有効になります。 「IP アドレス」：本機の IP アドレスを設定します。 「サブネットマスク」：本機のサブネットマスクを設定します。 「デフォルトゲートウェイ」：本機のデフォルトゲートウェイを設定します。 「MAC アドレス」：本機の MAC アドレスを表示します。変更はできません。 「適用」：手動で設定した IP アドレスを有効にします。
IPv6 情報	IPv6 アドレス情報を表示します。 IPv6 アドレス設定を行う場合は、ウェブブラウザから設定してください。(36 ページ)
ライセンス管理	ライセンスのアクティベーション（有効化）状態を管理します。 「ライセンス有効化」：対応可能なライセンスをアクティベーション（有効化）します。 「機器固有 ID」：機器固有の ID 番号を表示します。 ちょっと一言 ライセンス有効化により有効になる機能に関する詳細は、下記をご確認ください。 https://www.ecspert.sony.biz/ ご注意 使用できるウェブブラウザは、下記になります。 Windows OS: Internet Explorer10/11、Microsoft Edge (Windows 10)、Google Chrome Mac OS: Safari

① 情報メニュー

本機の機種名、シリアルナンバー、投影時の画像の信号種類、ソフトウェアバージョンなどの情報を見ることができます。



項目	項目説明
モデル名	機種名を表示します。
シリアル No.	シリアルナンバーを表示します。
信号種類	ご覧になっている映像の解像度を表示します。入力信号に 3D 情報が含まれている場合は、解像度と 3D フォーマットの形式を表示します。また、入力信号が HDR 対応の場合は入力信号に応じて「HDR(HDR10)」または「HDR(HLG)」と表示されます。
ソフトウェアバージョン	ソフトウェアのバージョンを表示します。
ライト使用時間	これまでのライト使用時間を累積して表示します。
吸気温度	本機の吸気温度を表示します。

ご注意

上記の項目は調整や変更ができません。

プリセットメモリーについて

本機では、お買い上げ時に、「プリセット信号一覧」(45 ページ)に記載されている信号に対して最適な表示となるよう映像データがあらかじめ設定されています (プリセットメモリー)。これらの信号を入力したときは、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを読み出し、最適な映像で映します。「① 情報」メニューの画面に入力信号の種類が表示されます。

ご注意

入力するコンピューター信号によっては、画面の一部が欠けたり正しく表示されない場合があります。

ネットワーク機能を利用する

本機をネットワークに接続することで、以下のことができます。

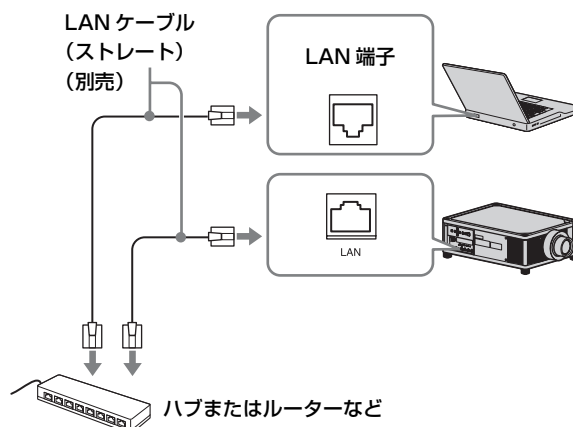
- ・ ウェブブラウザを利用して本機の現在の状況を確認する。
- ・ 本機のネットワーク設定を行う。
- ・ 各種ネットワーク監視、制御プロトコル (SDAP (Advertisement)、SDCP (PJ Talk)、DDDP (AMX)、Crestron RoomView、Control4) を使用したコントロールを行う。

で注意

- ・ 本機をネットワークに接続する際には、ネットワーク管理者にご相談ください。また、セキュリティ対策されたネットワーク環境でご使用ください。
- ・ プロジェクターをネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定から変更してください (37 ページ)。また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- ・ ブラウザでの設定作業が完了したら、ログアウトするためにブラウザを閉じてください。
- ・ 説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 使用できるウェブブラウザは、Internet Explorer 8/9/10/11 です。
- ・ 表示可能言語は英語のみです。
- ・ コンピューターから本機にアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、チェックマークをクリックし、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
- ・ AMX DDDP は IPv6 に非対応です。
- ・ これらのネットワーク機能は本機の電源が入っているときに有効となります。

ウェブブラウザで本機のコントロール画面を開く

1 LAN ケーブルをつなぐ。



2 本機のネットワーク設定を行う。

「 設置設定」メニューの「ネットワーク設定」で本機のネットワーク設定を行ってください。(34 ページ)

3 ウェブブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力し Enter キーを押す。

`http://xxx.xxx.xxx.xxx`

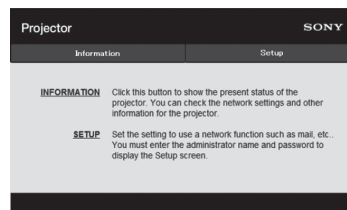
(xxx.xxx.xxx.xxx: 本機の IP アドレス)

IPv6 アドレスで接続する場合

`http://[xxxx:xxxx: ~ xxxx]`

本機の IP アドレスは、「 設置設定」メニューの「ネットワーク設定」で確認できます。

ブラウザに以下のようなコントロール画面が表示されます。

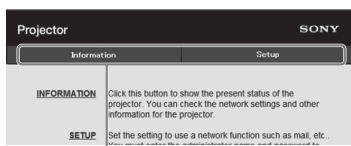


一度ネットワーク設定を行えば、次回からは手順 **3** の操作だけでコントロール画面を表示できます。

コントロール画面を操作する

ページを切り替える

ページ切換えボタンをクリックして、設定したいページを表示してください。



ページ切換えボタン

アクセス制限を設定する

各ページの利用者を次のように制限できます。

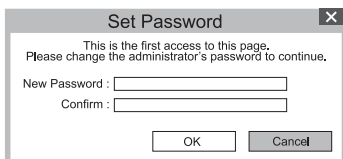
管理者：すべてのページにアクセス可能。

ユーザー：Setup ページ以外にアクセス可能。

初めて Setup ページにアクセスするときは、認証ダイアログのユーザー名に「root」、パスワードに「Projector」を入力してください。

初めてログインすると、パスワードの変更を求める画面が表示されます。画面に表示される手順に沿ってパスワードを変更してください。

なお、管理者の名前は「root」に固定されています。



「管理者」権限の入力エリア

「ユーザー」権限の入力エリア

パスワードは、Setup ページ内の Password ページから変更できます。

パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード(****)を削除してから、新しいパスワードを入力してください。

管理者、ユーザーパスワードは、英字と数字の両方を含む 8 桁以上 16 桁以内で設定してください。英字の大文字、小文字は区別されます。

初期パスワード「Projector」を新しいパスワードとして設定することはできません。

ご注意

パスワードを忘れた時は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

本機の状態を確認する

Information ページを開くと、本機の現在の状態を確認できます。



情報エリア

困ったときは

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因と対処	ページ
電源が入らない。	インジケータを確認してください。	40
	電源コードを挿してから電源を入れられる状態になるまで 10 秒程度時間がかかることがあります。少し時間をおいてから電源を入れてください。	—
突然電源が切れた。	「  初期設定」メニューの「パワーセービング」の設定が「スタンバイ」になっていないか確認してください。	28
	「パワーセービング」を「切」に設定してください。	28

映像に関する項目

症状	原因と対処	ページ
映像が映らない。	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	10
	INPUT ボタンで入力を正しく選んでください。	12
	コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。	—
	ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。	—
映像が 2 重に見える。	3D 表示されています。3D メガネを使用してご覧ください。または、「2D-3D 表示選択」を「3D」に設定してください。	13、29
明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなり過ぎる。	HDMI 規格からはずれた信号レベルで入力されたときに症状が出る場合があります。つないだ機器の出力レベルを切り替えるか、本機の「  機能設定」メニューでダイナミックレンジを切り替えてください。	30
画面が暗い。	「  画質設定」メニューで「コントラスト」、「明るさ」を正しく設定してください。	20
画面がぼやける。	画面のフォーカスを合わせてください。	7
	結露が生じました。電源を入れたまま約 2 時間放置してください。	—
文字や映像の色ずれが気になる。	「  設定設定」メニューの「パネルアライメント」で調整してください。	33
画面に残像が現れる。	画面の同じ位置にコントラストの強い静止画を長時間表示し続けると、一時的な残像が現れることがあります。いったん電源を切り、しばらくすると残像は自然に消えます。	—

表示に関する項目

症状	原因と対処	ページ
画面表示が出ない。	「  初期設定」メニューで「画面表示」の設定を「入」にしてください。	27
	ON/STANDBY インジケータが緑に点滅していないか確認してください。緑色に点滅しているときは本機が起動途中です。緑色の点灯に変わるまでお待ちください。	7

リモコンに関する項目

症状	原因と対処	ページ
リモコンが働かない。	電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。	－
	電池の   を正しく入れてください。	－
	リモコン受光部の近くに照明があると誤動作することがあります。	－
	本機のリモコン受光部の位置を確認してください。	4
	「  設置設定」メニューで「リモコン受光部」の設定を「前&後」にしてください。	32
	IR IN 端子にケーブルが接続されていないことを確認してください。	3

3D に関する項目

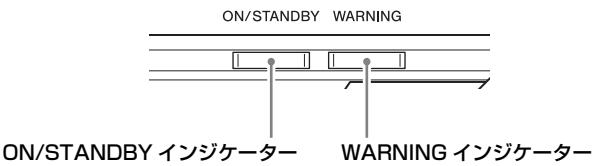
症状	原因と対処	ページ
映像が 3D に見えない。	3D メガネの電源が入っているか確認してください。	13
	3D メガネの電池が消耗していないか、または充電されているか確認してください。	－
	「2D-3D 表示選択」を「オート」または「3D」に設定してください。	29
	3D 対応の信号か確認してください。	46
	再生する機器や接続している AV セレクター／オーディオアンプの仕様により、本機に 3D 信号が入力されない場合があります。その場合は、再生する機器や AV セレクター／オーディオアンプの仕様や設定を確認してください。	－
	視聴位置が本機から離れすぎている場合は 3D メガネが動作しにくくなります。	13
	画面サイズが適切でない可能性があります。レンズズームの倍率を小さくするか、投写画面から離れて視聴してください。	49
	「3D メガネを使う」の「使用上のご注意」を参照してください。	13

その他

症状	原因と対処	ページ
ファンの音が気になる。	「高地モード」を確認してください。	27
	室温が高くないか確認してください。	－
	本機の設置条件を確認してください。	－
	部品の信頼性を保つために、常温より室温が高くなるとファンの回転数が上がり、音が大きくなります。常温の目安は 25℃です。	
レンズシフトが動かない。	レンズシフトは可動範囲を超える方向へは動きません。可動範囲内でご使用ください。	8、49

インジケータの見かた

本機では、本体前面の ON/STANDBY インジケータと WARNING インジケータの点灯または点滅で不具合をお知らせします。



点滅／点灯状態	点滅回数	原因と対処
	3 回	光源および光源電源の異常により正しく点灯できない状態になっています。電源を切り、しばらくたってからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合はソニーの相談窓口にご相談ください。
	6 回	落下衝撃を検出しました。 異常時はソニーの相談窓口にご相談ください。異常がない場合は、電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認してからもう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
	8 回	レンズが確実に装着されていません。
	2 回	本体内部温度が高温になっています。排気口、吸気口がふさがれていないか、標高が高い場所で使用していないか確認してください。
(赤点滅) (赤点滅) 同時に点滅		

ご注意

上記以外の点滅ならびに上記対応を行っても解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

メッセージ一覧

警告メッセージ

メッセージ	意味と対処	ページ
「セット内部温度が高いです。1 分後にライ トオフします。」	電源を切ってください。 排気口、吸気口がふさがっていないかを確認してください。	— 4
「入力信号の周波数が対応範囲をこえてい ます！」	入力信号の周波数範囲を超えています。対応範囲内の信号を入力してくださ い。	45
「本機内部の温度が高くなっていますので、 高地モードを入に切り替えます。高地でご 使用の際は、高地モードは入でお使いくだ さい。」	排気口、吸気口がふさがっていないか確認してください。 高地で使用しているときは、「高地モード」を「入」にしてください。 ご注意 機内部温度が下がらないと、1 分後に「高地モード」が「入」に切り替わり、 ファンの回転数が上がります。	4 27
「パワーセービングが設定されています。 1 分後に自動的にスタンバイになります。」	「パワーセービング」が「スタンバイ」に設定されています。 ご注意 入力信号がない場合、1 分後に電源がオフし、スタンバイ状態となります。	28

注意メッセージ

メッセージ	意味と対処	ページ
x→	選択されている入力端子に何も入力されていません。接続を確認してくださ い。	10
「無効キーが押されました！」	正しいボタンで操作してください。 操作を受け付けないボタンを押しました。	—
「セッティングロック中です。」	「セッティングロック」が「レベル A」または「レベル B」に設定されていま す。	30

保証書とアフターサービス

保証書

- ・ この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを →

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは →

お買い上げ店またはソニーの修理窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は →

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は →

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

アップデート機能を利用する

アップデート用のファイルをパソコンにダウンロードし、USB メモリーにファイルをコピーして本機の USB 端子に差し込むことで、本機のアップデートを行うことができます。ご利用には、お客様ご自身で「USB メモリーを用意」していただき、お持ちのパソコンがインターネットに接続でき、USB メモリーにアップデートファイルを書き込むことが可能な環境が必要となります。

アップデートファイルはソニーのホームページからダウンロードすることができます。

詳細な手順はホームページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/video-projector/update/>

ご注意

使用する USB メモリーによっては非対応場合があります。詳細は上記ホームページにてご確認ください。

HDR(ハイダイナミックレンジ)について

HDR は、従来よりも暗所から明所までの表現力が向上した映像表現を示します。

DCI 仕様について

DCI 仕様とは、デジタルシネマ上映システムの仕様で、ハリウッド映画 6 大スタジオで構成される業界標準化団体 DCI (Digital Cinema Initiative) で制定されたものです。

x.v.Color(エックスバイ・カラー)について

- ・“x.v.Color”とは、xvYCC 規格に対応し、従来以上の広色域表現が可能な機器に付す名称としてソニーが提案している商標です。

- ・ xvYCC 規格とは、ビデオ映像信号の色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

シミュレーテッド 3D 機能について

- ・ シミュレーテッド 3D 機能を使うと、本機は 2D 映像を 3D 表示へ映像変換を行います。そのため、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、シミュレーテッド 3D 機能をお使いください。
- ・ 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどにおいて、シミュレーテッド機能を利用して 2D 映像を 3D 表示に変換した場合、著作権法上保護されている著作者の権利を害する恐れがあります。

ソフトウェアに関するお知らせ

別冊の「Software License Information」をご覧ください。

商標について

- ・「プレイステーション」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- ・本機は、High-Definition Multimedia Interface (HDMI®) 技術を搭載しています。
HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- ・「ブルーレイ」、「ブルーレイディスク」は Blu-ray Disc Association の商標です。

本機は、HDMI の DeepColor、x.v.Color、LipSync、コンピュータ入力信号、3D 信号、4K 信号 (60P 4:4:4)、HDR に対応しております。また HDCP に対応しております。

主な仕様

項目	項目説明
投写方式	3 原色液晶シャッター投写方式
表示素子	有効表示サイズ SXRD 0.74 型 × 3
	有効画素数 4096 × 2160 × 3 画素
投写レンズ	電動方式 (VPLL-Z7013) 投射比 1.27:1 ~ 2.73:1 F2.9 ~ F3.9 シフト：V 方向 ± 80%、H 方向 ± 31%
画面サイズ	60 ~ 300 型 (1,524 mm ~ 7,620 mm)
光源	レーザーダイオード
対応信号	プリセット信号一覧をご覧ください。(45 ページ)
入出力端子	HDMI 端子 (HDCP 2.2) × 2
	REMOTE 端子 RS-232C、D-Sub 9 ピン
	LAN 端子 RJ45、10BASE-T/100BASE-TX
	USB 端子 タイプ A、DC 5 V、最大 500 mA
	IR 端子 IN: 1、OUT: 1、ミニジャック
	TRIGGER 端子 × 2 ミニジャック、DC12V、最大 100 mA
標準外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	550 mm × 228 mm × 750 mm
質量	約 43 kg (レンズを含む)
電源	AC100V、12A、50/60 Hz
消費電力	1.2 kw (最大)
待機電力	0.5 W
使用温度 (使用湿度)	5℃ ~ 40℃ (20% ~ 80% (結露なきこと))
保存温度 (保存湿度)	- 10℃ ~ + 60℃ (20% ~ 80% (結露なきこと))
付属品	簡易説明書の「付属品を確かめる」をご覧ください。
別売りアクセサリ	アクティブ 3D メガネ：TDG-BT500A* プロジェクションレンズ VPLL-Z7008：電動方式、投射比：0.80:1 ~ 1.02:1、シフト：V 方向 ± 50%、H 方向 ± 18%、F 値：2.9、画面サイズ：60 ~ 1000 型 (1,524 mm ~ 25,400 mm)、最大外形寸法：134 mm × 134 mm × 309 mm (幅 × 高さ × 奥行き)、質量：3.7 kg

* 3D 信号表示のため、3D メガネはプロジェクターと Bluetooth 技術にて通信を行います。

ご注意

- ・ 表示している外形寸法、質量は概寸です。
- ・ 別売りアクセサリの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口を確認してください。
- ・ ここに記載されている別売りアクセサリは、2016 年 10 月現在のものです。

本機の仕様、外観および別売りアクセサリは改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

プリセット信号一覧

下記は、本機で投影可能な信号の種類・フォーマットの一覧表です。

これ以外の信号に対しては、正しい投影ができなくなる場合がありますので、ご注意ください。

プリセット メモリーナ ンバー	プリセット信号 (解像度)		fH (kHz)	fV (Hz)	同期
5	480/60p	480/60p (倍速 NTSC) (720 × 480p)	31.470	60.000	－
6	576/50p	576/50p (倍速 PAL) (720 × 576p)	31.250	50.000	－
7	1080/60i	1035/60i (1920 × 1035i) 1080/60i (1920 × 1080i)	33.750	60.000	－
8	1080/50i	1080/50i (1920 × 1080i)	28.130	50.000	－
10	720/60p	720/60p (1280 × 720p)	45.000	60.000	－
11	720/50p	720/50p (1280 × 720p)	37.500	50.000	－
12	1080/60p	1080/60p (1920 × 1080p)	67.500	60.000	－
13	1080/50p	1080/50p (1920 × 1080p)	56.260	50.000	－
14	1080/24p	1080/24p (1920 × 1080p)	26.973	23.976	－
18	720/60p (フレームパッキング)	720/60p (1280 × 720/60p)	90.000	60.000	－
19	720/50p (フレームパッキング)	720/50p (1280 × 720/50p)	75.000	50.000	－
20	1080/24p (フレームパッキング)	1080/24p (1920 × 1080/24p)	53.946	23.976	－
26	640 × 480	VGA	31.469	59.940	H- 負、V- 負
32	800 × 600	SVGA	37.879	60.317	H- 正、V- 正
37	1024 × 768	XGA	48.363	60.004	H- 負、V- 負
45	1280 × 960	QVGA	60.000	60.000	H- 正、V- 正
47	1280 × 1024	SXGA	63.974	60.013	H- 正、V- 正
55	1280 × 768	WXGA	47.776	59.870	H- 負、V- 正
71	1080/60i (フレームパッキング)	1080/60i (1920 × 1080/60i)	67.500	60.000	－
72	1080/50i (フレームパッキング)	1080/50i (1920 × 1080/50i)	56.250	50.000	－
74	3840 × 2160/60p	3840 × 2160/60p (3840 × 2160)	133.293	59.988	－
75	3840 × 2160/50p	3840 × 2160/50p (3840 × 2160)	112.500	50.000	－
76	4096 × 2160/60p	4096 × 2160/60p (4096 × 2160)	133.264	59.975	－
77	4096 × 2160/50p	4096 × 2160/50p (4096 × 2160)	112.500	50.000	－
78	4096 × 2160/30p	4096 × 2160/30p (4096 × 2160)	67.500	30.000	－
79	4096 × 2160/25p	4096 × 2160/25p (4096 × 2160)	56.250	25.000	－
93	3840 × 2160/24p	3840 × 2160/24p (3840 × 2160)	53.946	23.976	－
94	3840 × 2160/25p	3840 × 2160/25p (3840 × 2160)	56.250	25.000	－
95	3840 × 2160/30p	3840 × 2160/30p (3840 × 2160)	67.433	29.970	－
96	4096 × 2160/24p	4096 × 2160/24p (4096 × 2160)	54.000	24.000	－

入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整／設定できる項目が異なります。詳しくは下の表をご覧ください。調整／設定できない項目はメニューに表示されません。

スクリーン設定メニュー

項目	プリセットメモリーナンバー	
	5～8、10～14、18～20、71、72、 74～79、93～96	26、32、37、45、47、55
アスペクト	○	×

○：調整／設定できる項目

×：調整／設定できない項目

対応 3D 信号一覧

本機は以下の 3D 信号に対応しています。

解像度	3D 信号のフォーマット
720/60p、720/50p	左右分割方式
	上下分割方式
	フレームパッキング
1080/60i、1080/50i	左右分割方式
	フレームパッキング
1080/24p	左右分割方式
	上下分割方式
	フレームパッキング
1080/60p、1080/50p	左右分割方式
	上下分割方式

アスペクトモード

入力される信号の解像度や 3D フォーマットによって、選択できない項目があります。詳しくは下の表をご覧ください。選択できない項目は、メニューに表示されません。

2D

対応解像度	4096 × 2160	3840 × 2160	1920 × 1080	1280 × 720	720 × 480 720 × 576	その他
プリセットメモリーナンバー (45 ページ)	76～79、96	74、75、 93～95	7、8、 12～14	10、11	5、6	26、32、37、 45、47、55
1.85:1 ズーム	×	○	○	○	○	×
2.35:1 ズーム	×	○	○	○	○	×
ノーマル	○	○	○	○	○	○*
V ストレッチ	○	○	○	○	○	×
スクイーズ	○	○	○	○	○	×
ストレッチ	×	×	×	×	○	×

*：ノーマル固定のためメニューには表示されません。

3D

対応解像度	1920 × 1080、1280 × 720			
3D フォーマット	左右分割方式	上下分割方式	フレームパッキング	シミュレーテッド 3D
プリセットメモリーナンバー (45 ページ)	7、8、 10～14	10～14	18～20、71、72	7、8、10～14
1.85:1 ズーム	○	○	○	○
2.35:1 ズーム	○	○	○	○
ノーマル	○	○	○	○
V ストレッチ	○	○	○	○
スクイーズ	○	○	○	○
ストレッチ	×	×	×	×

調整／設定項目の保存条件

各調整／設定項目は、下の表にある保存条件ごとに個別に保存されます。詳しくは下の表をご覧ください。

画質設定メニュー

項目	保存条件
ピクチャープリセット	入力端子、かつプリセット信号ごと
標準に戻す	入力端子、かつピクチャープリセットごと
リアリティークリエーション	
レーザーライト設定	
コントラストエンハンサー	
Motionflow	
コントラスト	
明るさ	
色の濃さ	
色あい	
色温度	
D93～D55、カスタム	
ゲイン R	色温度ごと
ゲイン G	
ゲイン B	
バイアス R	
バイアス G	
バイアス B	

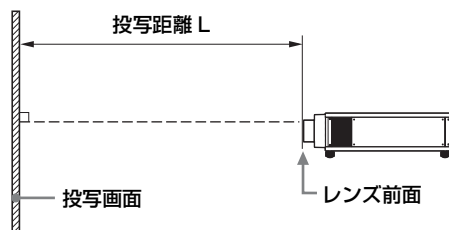
項目	保存条件
シャープネス	入力端子、かつピクチャープリセットごと
NR	
MPEG NR	
スムーズグラデーション	
フィルムモード	
ガンマ補正	
カラーコレクション	
クリアホワイト	
x.v.Color	
HDR	
カラースペース	
BT.709 ～カスタム	
赤	カラースペースごと
緑	
青	
シアン - 赤	
マゼンタ - 緑	
遅延低減	入力端子、かつピクチャープリセットごと

スクリーン設定メニュー

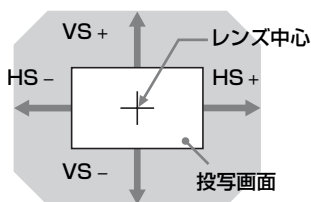
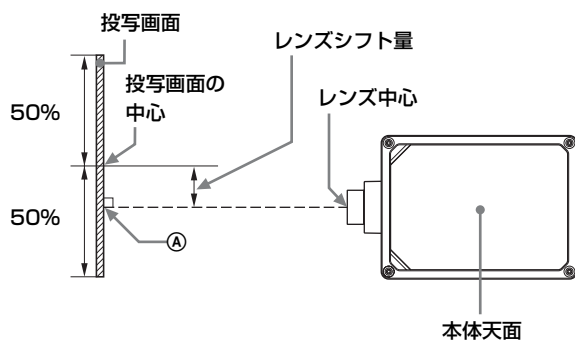
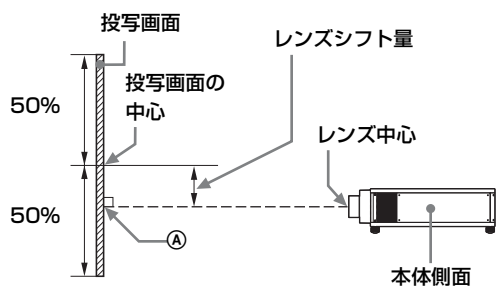
項目	保存条件
アスペクト	ピクチャーポジションごと
ブラッキング	

投写距離とレンズシフト量

投写距離は、レンズ前面から投写面までの距離です。



レンズシフト量は、レンズの中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 ㊟）と、投写画面の中心が同じ場合を「0」とした場合、そこからどれくらい動かせるかを、投写画面の「全高」または「全幅」を100%とし、その距離をパーセントで表します。



網掛け：移動できる範囲

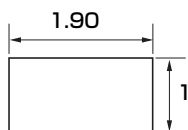
VS+：垂直レンズシフト量（上）[%]

VS-：垂直レンズシフト量（下）[%]

HS+：水平レンズシフト量（右）[%]

HS-：水平レンズシフト量（左）[%]

1.90:1（ネイティブフル表示 17:9）投写時



投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	
対角 D	横×縦	VPLL-Z7008	VPLL-Z7013
80 型 (2.03)	1.80 × 0.95	1.43 - 1.82	2.23 - 4.90
100 型 (2.54)	2.25 × 1.18	1.80 - 2.29	2.81 - 6.14
120 型 (3.05)	2.70 × 1.42	2.17 - 2.76	3.39 - 7.38
150 型 (3.81)	3.37 × 1.78	2.74 - 3.47	4.25 - 9.25
200 型 (5.08)	4.49 × 2.37	3.67 - 4.65	5.70 - 12.36

投写距離計算式

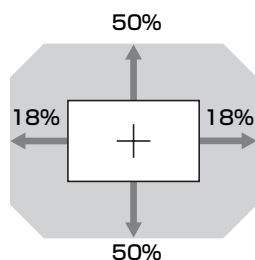
D：投写画面サイズ（対角）

単位：m

レンズ	投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
VPLL-Z7008（オプションレンズ）	$L = 0.018689 \times D - 0.0733$	$L = 0.023617 \times D - 0.0664$
VPLL-Z7013（標準レンズ）	$L = 0.028860 \times D - 0.0800$	$L = 0.062212 \times D - 0.0756$

レンズシフト量

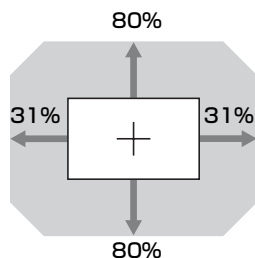
VPLL-Z7008（オプションレンズ）



$$VS+ = VS- = 50 - 2.778 \times (HS+ \text{もしくは} HS-) [\%]$$

$$HS+ = HS- = 18 - 0.360 \times (VS+ \text{もしくは} VS-) [\%]$$

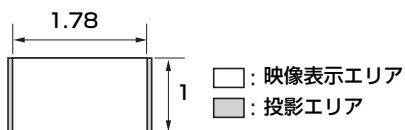
VPLL-Z7013（標準レンズ）



$$VS+ = VS- = 80 - 2.581 \times (HS+ \text{もしくは} HS-) [\%]$$

$$HS+ = HS- = 31 - 0.388 \times (VS+ \text{もしくは} VS-) [\%]$$

1.78:1 (16:9) 投写時



投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	
対角 D	横×縦	VPLL-Z7008	VPLL-Z7013
80 型 (2.03)	1.77 × 1.00	1.50 - 1.91	2.35 - 5.15
100 型 (2.54)	2.21 × 1.25	1.90 - 2.41	2.96 - 6.46
120 型 (3.05)	2.66 × 1.49	2.29 - 2.91	3.56 - 7.77
150 型 (3.81)	3.32 × 1.87	2.88 - 3.65	4.47 - 9.73
200 型 (5.08)	4.43 × 2.49	3.86 - 4.89	5.99 - 13.00

投写距離計算式

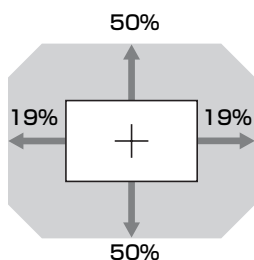
D：投写画面サイズ（対角）

単位：m

レンズ	投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
VPLL-Z7008（オプションレンズ）	$L = 0.019643 \times D - 0.0733$	$L = 0.024822 \times D - 0.0664$
VPLL-Z7013（標準レンズ）	$L = 0.030333 \times D - 0.0800$	$L = 0.065387 \times D - 0.0756$

レンズシフト量

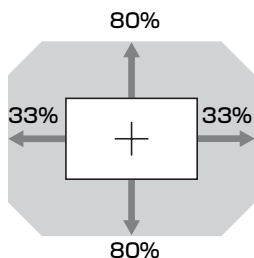
VPLL-Z7008（オプションレンズ）



$$VS+ = VS- = 50 - 2.632 \times (HS+ \text{もしくは} HS-) [\%]$$

$$HS+ = HS- = 19 - 0.380 \times (VS+ \text{もしくは} VS-) [\%]$$

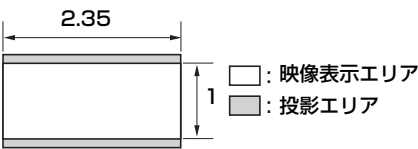
VPLL-Z7013（標準レンズ）



$$VS+ = VS- = 80 - 2.424 \times (HS+ \text{もしくは} HS-) [\%]$$

$$HS+ = HS- = 33 - 0.413 \times (VS+ \text{もしくは} VS-) [\%]$$

2.35:1 投写時



投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	
対角 D	横×縦	VPLL-Z7008	VPLL-Z7013
80 型 (2.03)	1.87 × 0.80	1.49 - 1.89	2.33 - 5.10
100 型 (2.54)	2.34 × 0.99	1.88 - 2.39	2.93 - 6.39
120 型 (3.05)	2.80 × 1.19	2.26 - 2.88	3.53 - 7.69
150 型 (3.81)	3.51 × 1.49	2.85 - 3.61	4.43 - 9.63
200 型 (5.08)	4.67 × 1.99	3.82 - 4.84	5.93 - 12.86

投写距離計算式

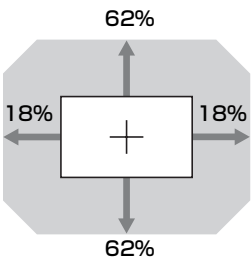
D：投写画面サイズ（対角）

単位：m

レンズ	投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
VPLL-Z7008（オプションレンズ）	$L = 0.019441 \times D - 0.0733$	$L = 0.024567 \times D - 0.0664$
VPLL-Z7013（標準レンズ）	$L = 0.030024 \times D - 0.0800$	$L = 0.064723 \times D - 0.0756$

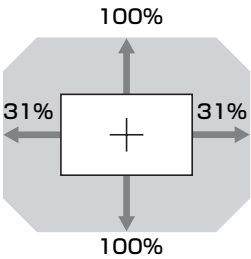
レンズシフト量

VPLL-Z7008（オプションレンズ）



$$VS+ = VS- = 62 - 3.444 \times (HS+ \text{もしくは} HS-) [\%]$$
$$HS+ = HS- = 18 - 0.290 \times (VS+ \text{もしくは} VS-) [\%]$$

VPLL-Z7013（標準レンズ）

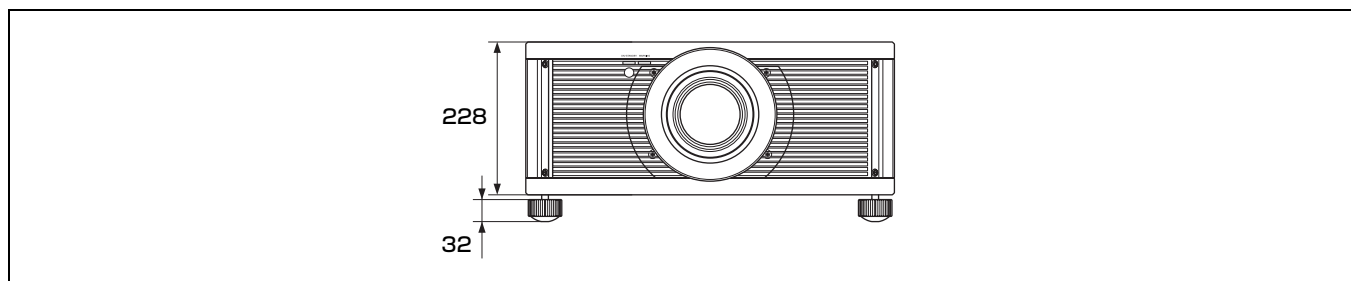


$$VS+ = VS- = 100 - 3.226 \times (HS+ \text{もしくは} HS-) [\%]$$
$$HS+ = HS- = 31 - 0.310 \times (VS+ \text{もしくは} VS-) [\%]$$

寸法図

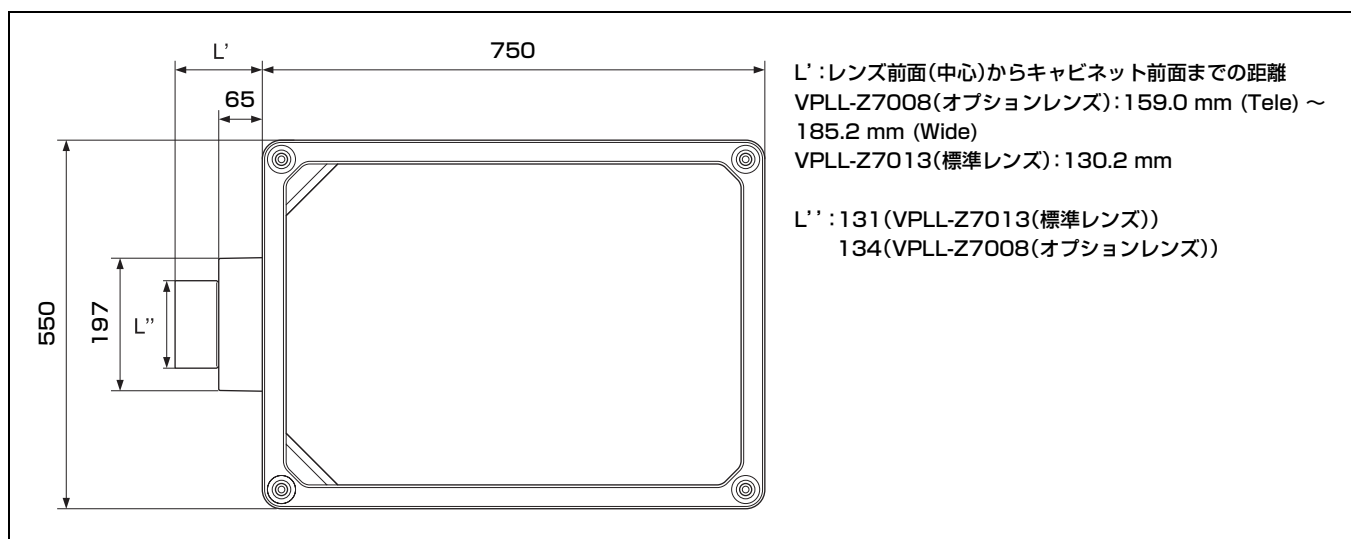
本体前面

単位：mm



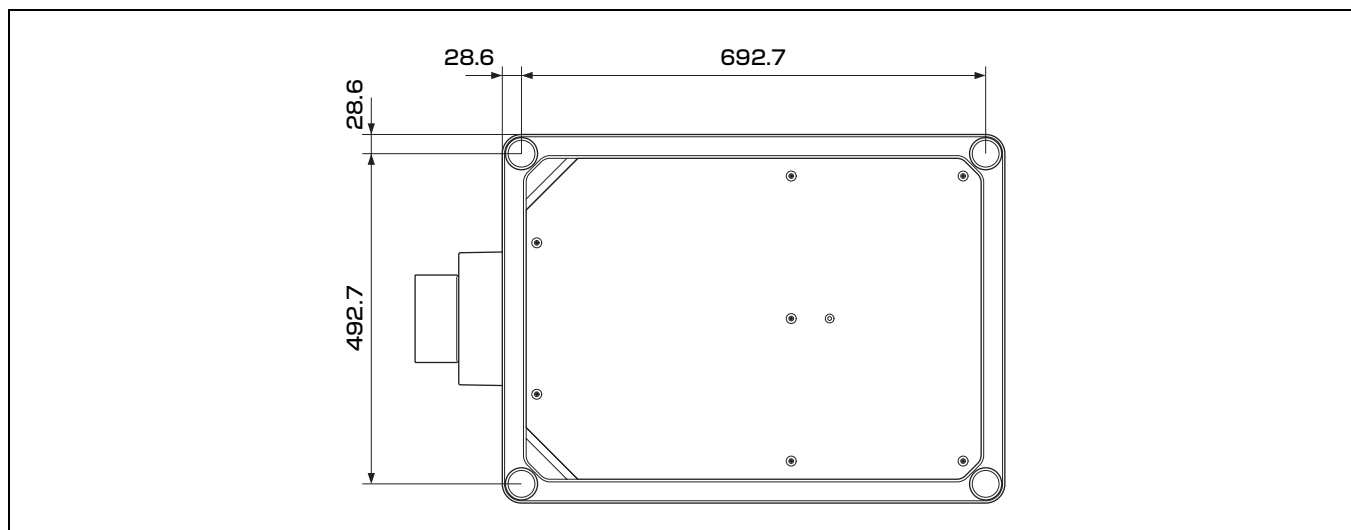
本体上面

単位：mm



本体底面

単位：mm



索引

あ

「明るさ」	20
アスペクト	
「スクイーズ」	15, 26
「ストレッチ」	15, 26
「ノーマル」	15, 26
「1.85:1 ズーム」	15, 26
「2.35:1 ズーム」	15, 26
「V ストレッチ」	15, 26
アップデート機能	43
「アナモフィックレンズ」	32
「イメージシフト」	26
「色あい」	20
「色温度」	21
「色の濃さ」	20
映像を投写する	12
「エキスパート設定」	21
「オートキャリブレーション」	24
お買い上げ時の値に戻す	18

か

各部の名前	
後面／底面	4
前面	3
画質	16
「画像反転」	32
画面位置の調整	6
「画面表示」	27
「カラーコレクション」	22
「カラースペース」	23
「ガンマ補正」	22
「吸気温度」	35
「クリアホワイト」	22
警告ランプ	40
「高地モード」	27
故障かな？と思ったら	38
「コントラスト」	20
「コントラストエンハンサー」	20
コントロールパネル	3

さ

「シネマブラックプロ」	20
シミュレーテッド 3D 機能	43
「シャープネス」	21
仕様	44
「信号種類」	35
「スムーズグラデーション」	21
寸法図	53
接続端子	3
「セッティングロック」	30
「全初期化」	28
「ソフトウェアバージョン」	35

た

対応 3D 信号一覧	46
------------	----

「ダイナミックレンジ」	30
「遅延低減」	23
「定期 LD 校正」	27
「テストパターン」	30
電源を入れる	7
電源を切る	12
投射距離とレンズシフト量	49
投写距離表	50, 51, 52
「トリガー切替」	32

な

入力信号と調整・設定項目	46
「ネットワーク管理」	28
ネットワーク機能	36
「ネットワーク設定」	34

は

パターン画面	9
「パネルアライメント」	33
「パワーセービング」	28
「ピクチャープリセット」	
「ゲーム」	19
「シネマ デジタル」	19
「シネマ フィルム 1」	19
「シネマ フィルム 2」	19
「フォト」	19
「ブライトシネマ」	19
「ブライト TV」	19
「ユーザー」	19
「リファレンス」	19
「TV」	19

ピクチャーポジション

「ピクチャーポジション」	25
ピクチャーポジションを使う	14
ビデオ機器やパソコンをつなぐ	10
「表示言語」	27
「標準に戻す」	19
「フィルムモード」	21
「ブランキング」	26
プリセット信号	45
プリセットメモリー	35
プリセットモード	

BRT CINE	16
BRT TV	16
CINEMA FILM1	16
CINEMA FILM2	16
GAME	16
PHOTO	16
REF	16
TV	16
USER	16

ま

メッセージ	
警告メッセージ	41
注意メッセージ	41

メニュー

画質詳細設定	24
画質設定	19

機能設定	29
情報	35
初期設定	27
スクリーン設定	25
設置設定	32
操作のしかた	17
「メニュー位置」	27

ら

「ライセンス管理」	34
「ライト使用時間」	35
「リアリティークリエーション」	19
「リモートスタート」	27
リモコン	
各部の名前	5
「リモコン受光部」	32
「レーザーライト設定」	20
「レンズコントロール」	32

数字

3D 映像	13
「3D 設定」	
「シミュレーテッド 3D 効果」	29
「2D-3D 表示選択」	29
「3D 明るさ」	29
「3D 奥行き調整」	29
「3D フォーマット」	29
3D メガネ	
3D メガネの動作範囲	13
3D メガネを使う	13

アルファベット

DCI 仕様	43
「HDR」	22
LAN 端子	36
「Motionflow (モーションフロー)」	20
「MPEG NR (MPEG ノイズリダクション)」	21
「NR (ノイズリダクション)」	21
WARNING インジケーター	40
x.v.Color (エクスペイ・カラー)	22, 43

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「203」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつながります。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>